
県内在学の高校生の就職・居住に 関する意識調査報告書

平成 27 年 7 月

水戸市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法と時期	1
4. 調査項目	2
5. 回収状況	2
II. 調査結果の概要	3
1. 居住している市町村・通学している市町村への愛着	3
2. 居住市町村への定住意向	3
3. 結婚観や子どもについての希望	3
4. 就職や働き方に対する希望	4
5. 市役所や役場が取り組むべきこと	4
III. 調査結果	5
1. 回答者の属性	5
2. 居住している市町村・通学している市町村への愛着	9
3. 結婚観や子どもについての希望	37
4. 就職や働き方に対する希望	41
5. 市役所や役場が取り組むべきこと	52
IV. 資料	56
1. アンケート票	56

(留意点)

●略号

- ・SA : Single Answer
選択肢から回答を1つだけ答える方法（構成比の合計値は100%）。
- ・MA : Multiple Answer
選択肢から回答を複数答える方法（構成比の合計値は100%を超える）。
本文中（:）セミコロンの後の数字は回答（限度）数を表している。

●単純集計 : 1つの設問について、集計結果を示す方法。

●クロス集計 : 1つの設問について、回答者の属性（性別や年齢等）別に集計結果を示す方法。居住市町村別については、回答数が少ない市町村があり、結果をみる上で留意する必要がある。

●構成比（%） : 不明（非該当）を除いた有効回答数を母数とする割合。

●桁数 : 表及びグラフ等のパーセンテージは小数点第2位以下を四捨五入して表示。

I. 調査の概要

1. 調査目的

国では、平成 26 年 12 月に、人口の現状と将来の姿を示し、50 年後に 1 億人程度の人口維持を目指す「長期ビジョン」と、人口減少を克服し、将来にわたって活力ある日本社会を実現するための「総合戦略」を策定したところである。

各市町村においても、国の総合戦略等を勘案し、地域の実状に応じた地方版の総合戦略を平成 27 年度中に策定するよう努めるものとされている。

人口の維持・減少抑制のためには、合計特殊出生率の底上げ策の展開、若年層の東京圏への流出抑制、あるいはUターン・Jターン等の呼び戻し施策が有効とされている。そこで、こうした取り組みにおいて、今後重要なターゲットとなる県内高校生に対して、将来の就職、居住に関する意識調査を行うことで、各市町村における今後の総合戦略策定にあたっての基礎資料とすることを目的とする。

なお、本調査は常陽銀行グループ主催『『まち・ひと・しごと創生』研究会』の参加市町村内で行う広域的なアンケート調査とする。

2. 調査対象

本調査の対象は、『『まち・ひと・しごと創生』研究会』に参加する 26 市町村のうち、本調査への参加要望のあった 10 市町村の県立・私立高校に通学する生徒（高校 3 年生）である。

※参加市町村：水戸市，日立市，鹿嶋市，那珂市，神栖市，行方市，鉾田市，東海村，阿見町，境町

【対象高校】

市町村名	公立・私立	学校名	市町村名	公立・私立	学校名	市町村名	公立・私立	学校名
水戸市	県立	水戸第一	日立市	私立	明秀学園日立	行方市	県立	玉造工業
	県立	水戸第二		私立	茨城キリスト教学園		県立	麻生
	県立	水戸桜ノ牧	鹿嶋市	県立	鹿島	鉾田市	県立	鉾田第一
	県立	水戸工業		県立	鹿島灘		県立	鉾田第二
	県立	水戸商業		私立	清真学園		県立	鉾田農業
日立市	県立	日立第一	那珂市	私立	鹿島学園	東海村	県立	東海
	県立	日立第二		県立	那珂	阿見町	私立	霞ヶ浦
	県立	日立北	神栖市	県立	水戸農業	境町	県立	境
	県立	多賀		県立	神栖			
	県立	日立工業		県立	波崎			
	県立	日立商業		県立	波崎柳川			

3. 調査方法と時期

参加市町村が各高校へ調査票を配布し、平成 27 年 7 月 10 日を〆切として回収した。

4. 調査項目

調査項目は、以下の通りである。

- ・居住している市町村・通学している市町村への愛着
- ・居住市町村への定住意向
- ・結婚観や子どもについての希望
- ・就職や働き方に対する希望
- ・市役所や役場が取り組むべきこと

5. 回収状況

調査票の回収状況は、以下の通りである。

- ・有効回答数 : 5,895人

【高校別回答数】

市町村名	学校名	回答数(人)	市町村名	学校名	回答数(人)	市町村名	学校名	回答数(人)
水戸市	水戸第一	189	鹿嶋市	鹿島	267	鉾田市	鉾田第一	270
	水戸第二	207		鹿島灘	42		鉾田第二	260
	水戸桜ノ牧	198		清真学園	172		鉾田農業	52
	水戸工業	187		鹿島学園	192		市小計	582
	水戸商業	200		市小計	673	東海村	東海	152
	市小計	981		那珂市	那珂	155	阿見町	霞ヶ浦
日立市	日立第一	235	那珂市	水戸農業	243	境町	境	200
	日立第二	193		市小計	398	合計	5,895	
	日立北	231	神栖市	神栖	131			
	多賀	272		波崎	183			
	日立工業	188		波崎柳川	150			
	日立商業	223		市小計	464			
	明秀学園日立	325	行方市	玉造工業	173			
	茨城キリスト教学園	240		麻生	189			
	市小計	1,907		市小計	362			

Ⅱ. 調査結果の概要

1. 居住している市町村・通学している市町村への愛着

- ・現在住んでいる市町村に「愛着がある」あるいは「どちらかといえば愛着がある」と回答した割合は70%超と高く、「愛着はない」あるいは「どちらかといえば愛着はない」と回答した割合（10%）を大きく上回っている。
- ・“愛着がある”理由としては、「昔から住んでいるから」や「生活環境が良い」、「友人が多い」などの割合が高い。
- ・“愛着はない”理由としては、「交通の利便性が悪い」が高く、特に女性でその傾向が強く見られる。
- ・また、通学している市町村への愛着については、5割が“愛着がある”と回答しており、その理由としては、「友人が多い」、「生活環境が良い」などの割合が高い。
- ・“愛着はない”理由としては、「交通の利便性が悪い」、「昔から住んでいないから」が高く、特に「交通の利便性が悪い」は女性でその傾向が強く見られる。

2. 居住市町村への定住意向

- ・現在住んでいる市町村への将来の居住については、約5割が「どちらともいえない・こだわりはない」としており、現時点では将来の居住地を決めていない高校生が多い。一方、3人にひとりが“住み続けたい（戻ってきたい）”と考えている。
- ・“住み続けたい（戻ってきたい）”理由としては、「友人がいるから」や「親の近くに住みたいから」などの割合が高い。「親の近くに住みたいから」は女性の回答割合が圧倒的に高い。
- ・“住み続けたくない（戻ってきたくない）”理由としては、「進みたい学校・就職先がないから」や「通勤・通学に不便だから」、「親から独立したいから」などの割合が高い。このうち、「進みたい学校・就職先がないから」は女性でその傾向が強く見られる。
- ・将来、住みたいまちとしては、「通勤・通学に便利なまち」や「日常の買い物に便利なまち」、「治安の良いまち」の割合が高い。

3. 結婚観や子どもについての希望

- ・75%超が「いずれ結婚したい」と回答しており、「結婚するつもりはない」（5%）を大きく上回っている。
- ・子どもについては、全体の9割超が欲しいと回答している。また、8割超は2人以上を希望している。

4. 就職や働き方に対する希望

- ・就職や働き方に対する考えは、「企業規模にかかわらず、やりたい仕事のできる企業に就職したい」が50%超で最も高い。また、「大手企業に就職したい」も20%弱と比較的高い。
- ・希望する仕事の分野については、男性は「機械・電機関連」や「スポーツ・健康関連」などが高く、女性は「介護・福祉・医療関連」や「子ども・教育関連」などが高い。
- ・働く場所は、「今住んでいる市町村ではなくても、なるべく近くで働きたい」が最も高く、「今住んでいる市町村で働きたい」と合わせ、4割超が“現在の居住地の近くで働きたい”と考えている。その理由としては、「就職後の生活が楽だと思っから」や「地元が好きだから」の割合が高い。

5. 市役所や役場が取り組むべきこと

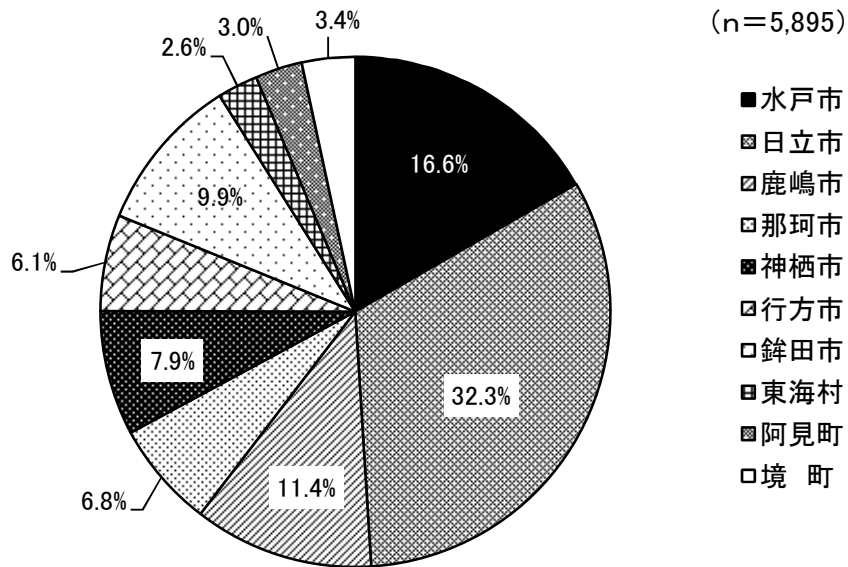
- ・現在住んでいる市町村の人口を増やすため、市役所や役場が力を入れるべきことは、「子育て支援の充実」が30%超で最も高い。また、「まちなかのにぎわい創出」や「公共交通の整備・充実」、「医療・福祉の充実」なども20%を超えており、人口増加や定住化促進のためには、幅広い取り組みが必要であると考えている。

Ⅲ. 調査結果

1. 回答者の属性

問1. あなたご自身についてお聞きします。

(1) 通学する高校

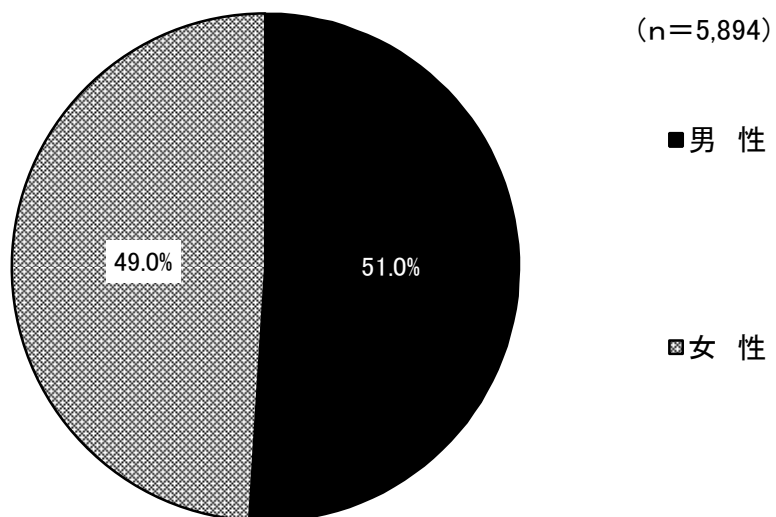


市町村名	学校名	回答数(人)	構成比(%)	市町村名	学校名	回答数(人)	構成比(%)	市町村名	学校名	回答数(人)	構成比(%)
水戸市	水戸第一	189	3.2	鹿嶋市	鹿嶋	267	4.5	鉾田市	鉾田第一	270	4.6
	水戸第二	207	3.5		鹿島灘	42	0.7		鉾田第二	260	4.4
	水戸桜ノ牧	198	3.4		清真学園	172	2.9		鉾田農業	52	0.9
	水戸工業	187	3.2		鹿島学園	192	3.3		市小計	582	9.9
	水戸商業	200	3.4		市小計	673	11.4	東海村	東海	152	2.6
市小計	981	16.6	那珂市	那珂	155	2.6	阿見町	霞ヶ浦	176	3.0	
日立市	日立第一	235		4.0	水戸農業	243	4.1	境町	境	200	3.4
	日立第二	193		3.3	市小計	398	6.8	合計	5,895	100.0	
	日立北	231	3.9	神栖市	神栖	131	2.2				
	多賀	272	4.6		波崎	183	3.1				
	日立工業	188	3.2		波崎柳川	150	2.5				
	日立商業	223	3.8	市小計	464	7.9					
	明秀学園日立	325	5.5	行方市	玉造工業	173	2.9				
	茨城キリスト教学園	240	4.1		麻生	189	3.2				
	市小計	1,907	32.3		市小計	362	6.1				

(2) 居住地

	居住市町村	回答数(人)	構成比(%)		居住市町村	回答数(人)	構成比(%)
1	日立市	1,240	21.0	24	稲敷市	46	0.8
2	神栖市	603	10.2	25	土浦市	44	0.7
3	水戸市	596	10.1	26	福島県	31	0.5
4	鹿嶋市	509	8.6	27	大洗町	23	0.4
5	ひたちなか市	401	6.8	28	石岡市	19	0.3
6	鉾田市	340	5.8	29	牛久市	19	0.3
7	行方市	255	4.3	30	つくば市	17	0.3
8	北茨城市	232	3.9	31	かすみがうら市	14	0.2
9	高萩市	177	3.0	32	龍ヶ崎市	13	0.2
10	潮来市	157	2.7	33	桜川市	13	0.2
11	那珂市	157	2.7	34	大子町	13	0.2
12	東海村	145	2.5	35	美浦村	13	0.2
13	常陸太田市	105	1.8	36	筑西市	9	0.2
14	小美玉市	90	1.5	37	八千代町	9	0.2
15	常陸大宮市	81	1.4	38	常総市	6	0.1
16	古河市	80	1.4	39	結城市	3	0.1
17	千葉県	78	1.3	40	取手市	3	0.1
18	笠間市	72	1.2	41	つくばみらい市	3	0.1
19	茨城町	68	1.2	42	下妻市	1	0.0
20	坂東市	63	1.1	43	河内町	1	0.0
21	城里町	48	0.8		不 明	3	0.1
22	境 町	48	0.8		合 計	5,895	100.0
23	阿見町	47	0.8				

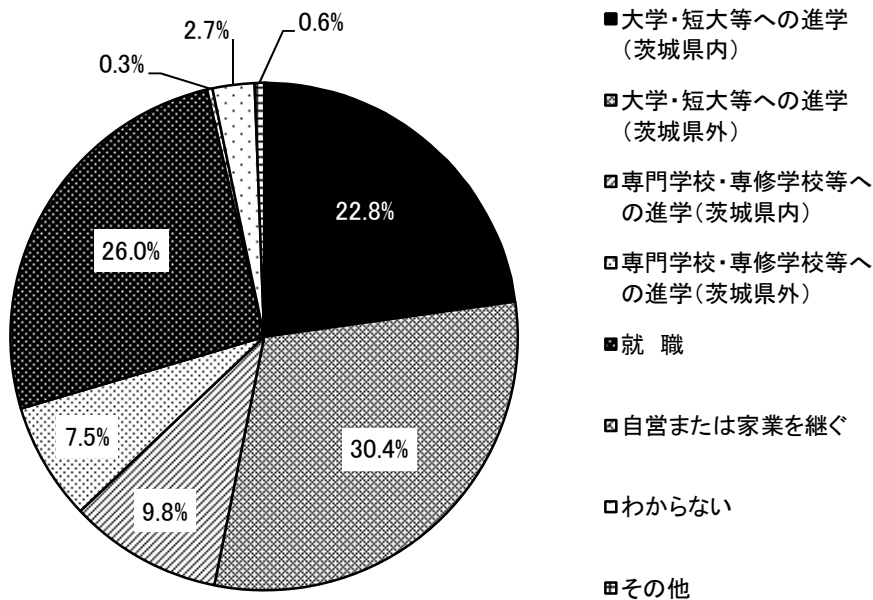
(3) 性別



	実数(人)	構成比(%)
男性	3,006	51.0
女性	2,888	49.0
不明	1	—
合計	5,895	5,894

(4) 卒業後に希望する進路

(n=5,868)

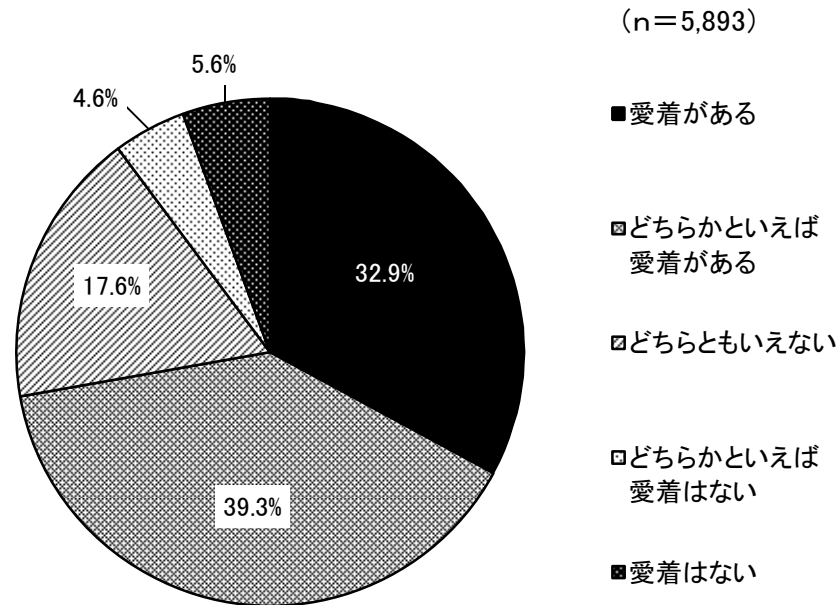


	回答数(人)	構成比(%)
大学・短大等への進学(茨城県内)	1,338	22.8
大学・短大等への進学(茨城県外)	1,784	30.4
専門学校・専修学校等への進学(茨城県内)	575	9.8
専門学校・専修学校等への進学(茨城県外)	440	7.5
就 職	1,523	26.0
自営または家業を継ぐ	17	0.3
わからない	156	2.7
その他	35	0.6
不 明	27	—
合 計	5,895	5,868

・高校卒業後に希望する進路は、「大学・短大等への進学(茨城県外)」が1,784人(構成比30.4%)で最も多い。次いで、「就職」(1,523人, 26.0%), 「大学・短大等への進学(茨城県内)」(1,338人, 22.8%), 「専門学校・専修学校等への進学(茨城県内)」(575人, 9.8%)となっている。

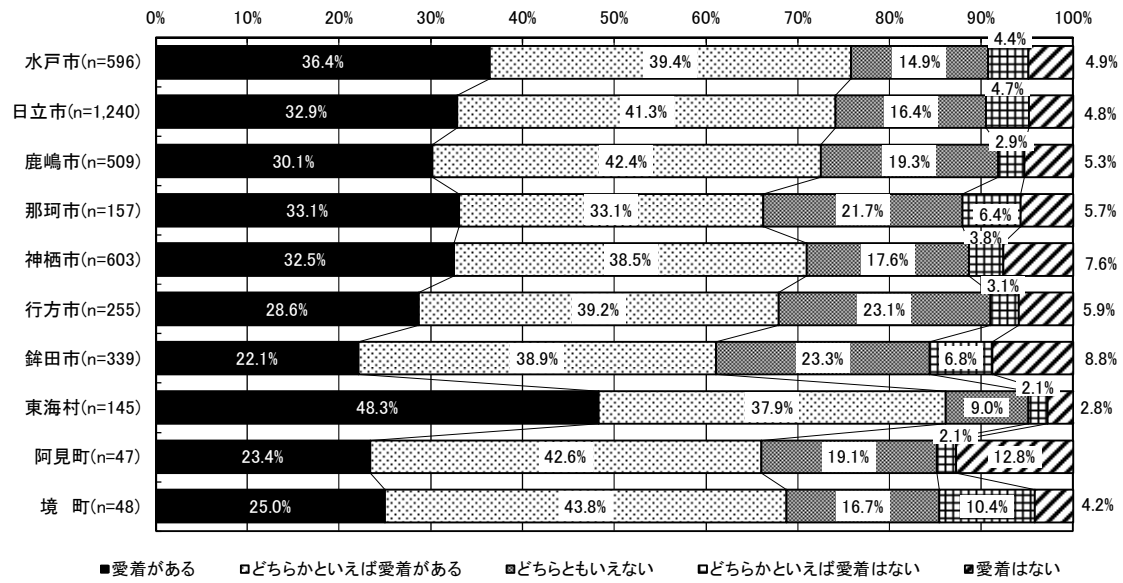
2. 居住している市町村・通学している市町村への愛着

問2. あなたは今お住まいの市町村に愛着がありますか。当てはまる番号に○をつけてください。
(SA)

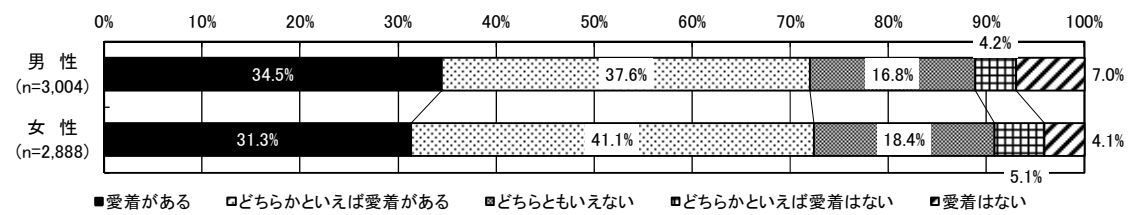


- ・「どちらかといえば愛着がある」が 39.3%で最も多い。次いで「愛着がある」が 32.9%となっており、これらを合わせ“愛着がある”と回答した割合は 72.2%となる。
- ・一方、「愛着はない」は 5.6%、「どちらかといえば愛着はない」は 4.6%で、これらを合わせ“愛着はない”と回答した割合は 10.2%となる。
- ・居住市町村別では、東海村で「愛着がある」の割合が 48.3%と他市町村と比べ突出して高く、「どちらかといえば愛着がある」を合わせ“愛着がある”と回答した割合は 86.2%に達する。
このほか、水戸市、日立市、鹿嶋市、神栖市で“愛着がある”と回答した割合が 7割を超えている。
- ・男女別では、それほど大きな回答差は見られない。

● 居住市町村別

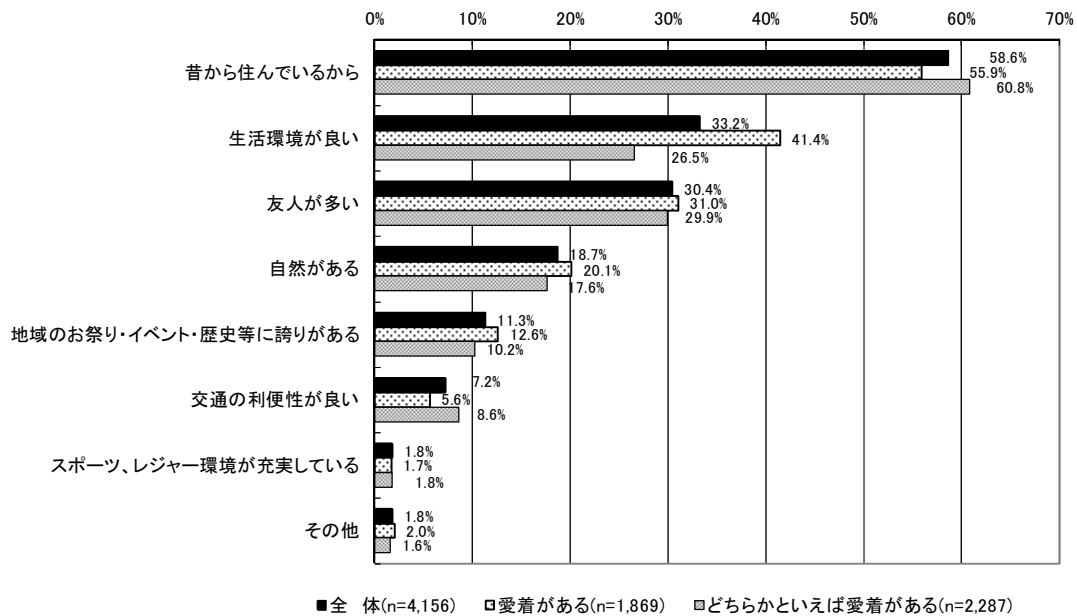


● 性別



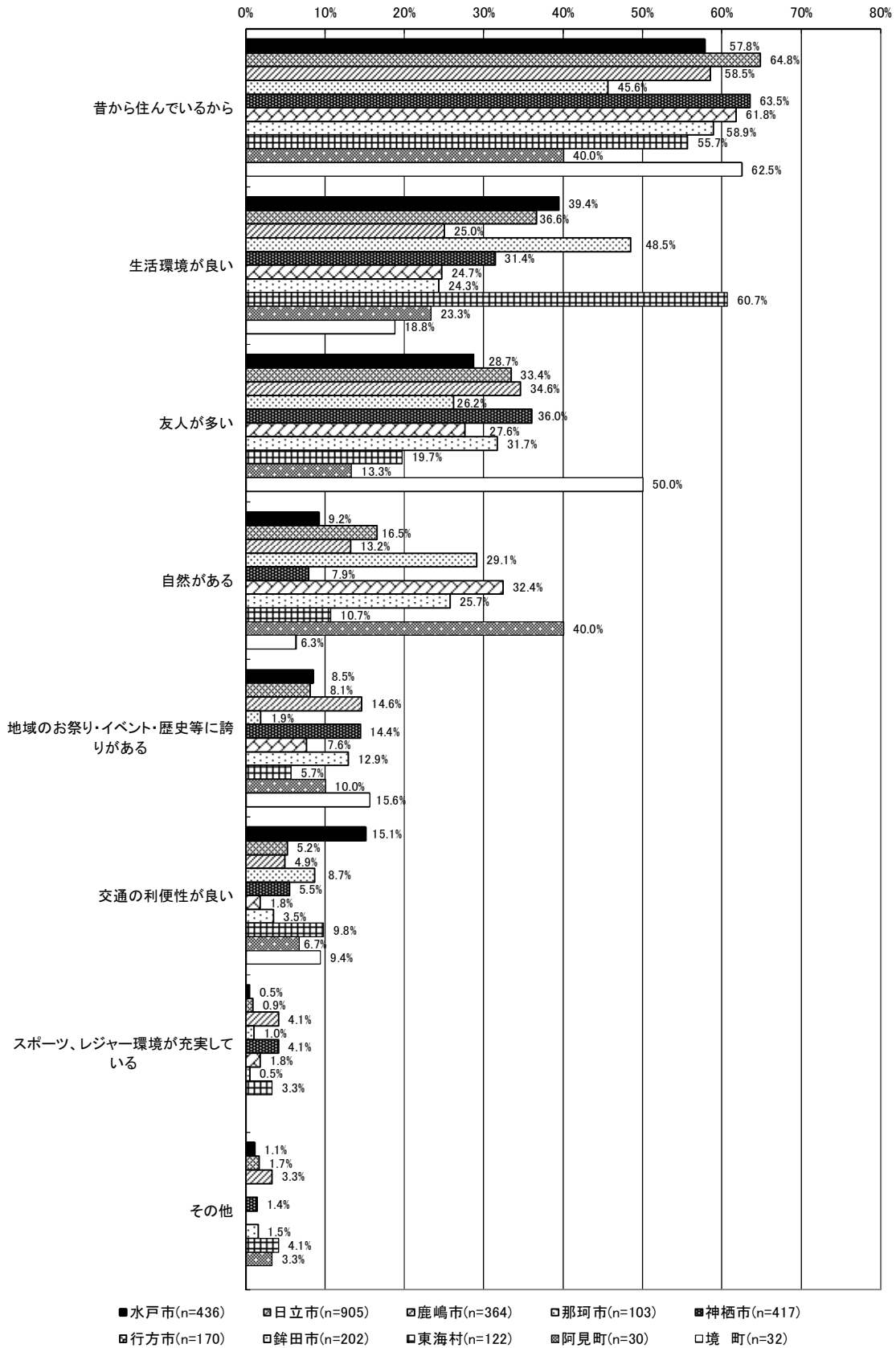
問3. あなたが「愛着がある」、「愛着はない」と感じる理由は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください。(MA:2)

(1) 愛着があると感じる理由(「愛着がある」、「どちらかといえば愛着がある」)

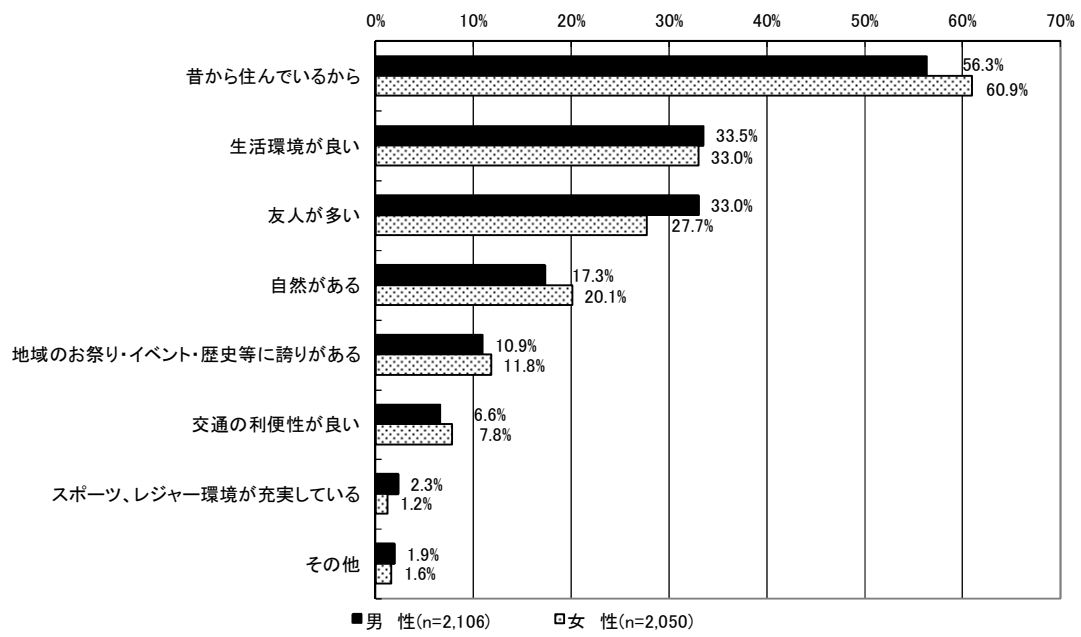


- ・“愛着がある”と感じる理由は、「昔から住んでいるから」が58.6%で最も多い。次いで、「生活環境が良い」が33.2%、「友人が多い」が30.4%となっている。
- ・居住市町村別では、日立市、神栖市、境町、行方市で「昔から住んでいるから」が6割を超えている。また、東海村の「生活環境が良い」、境町の「友人が多い」、阿見町の「自然がある」は、他市町村に比べて高い回答割合となっている。
- ・男女別では、男性で「友人が多い」、女性で「昔から住んでいるから」がそれぞれ高い回答割合となっている。

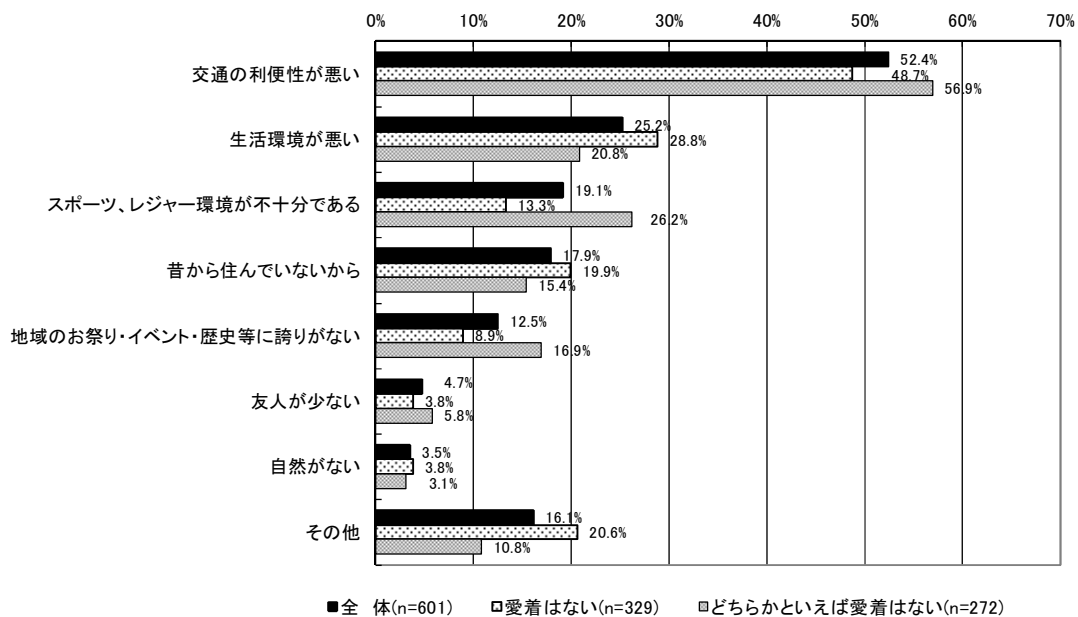
●居住市町村別



●性別



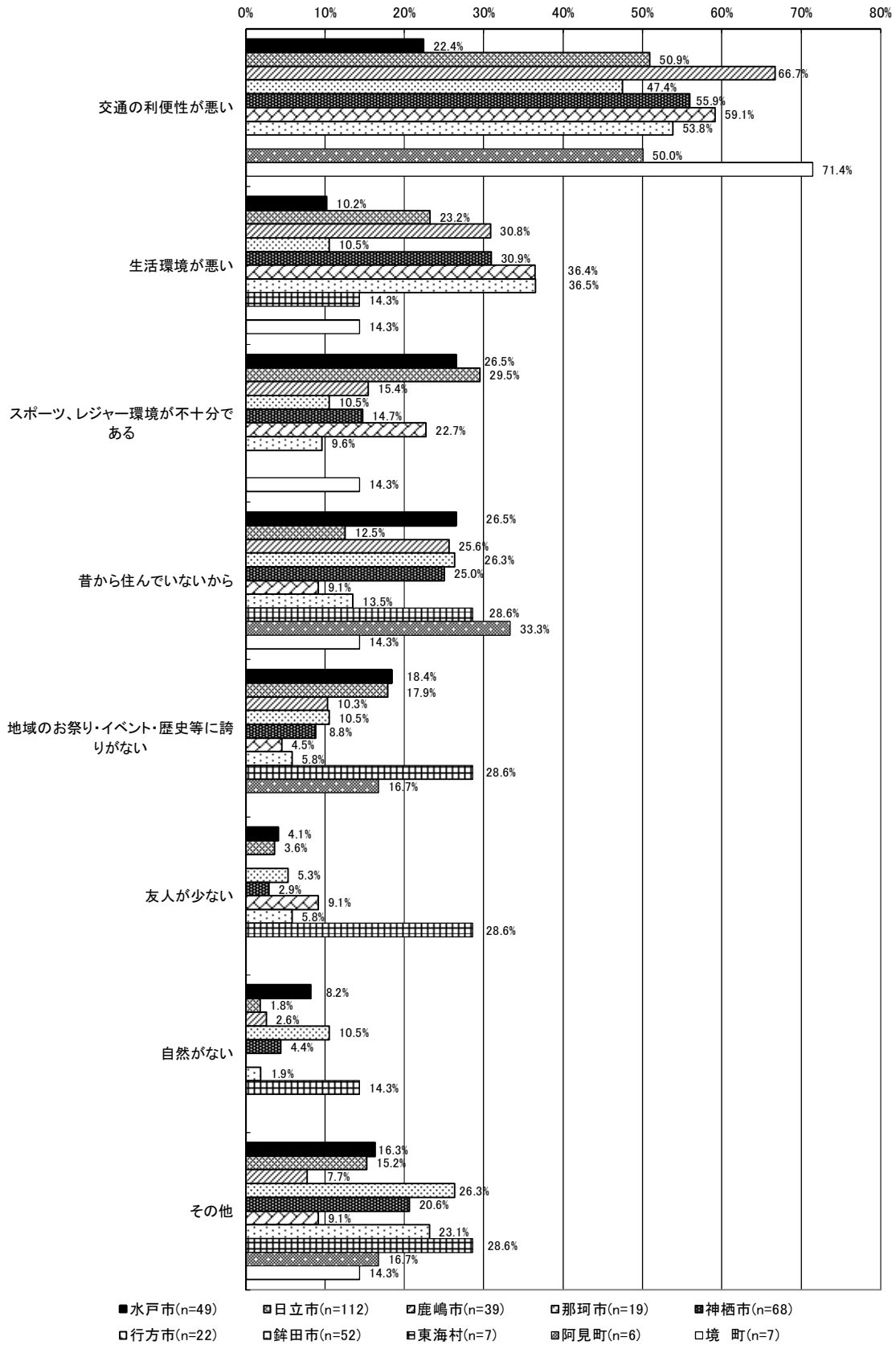
(2) 愛着はないと感じる理由(「愛着はない」、「どちらかといえば愛着はない」)



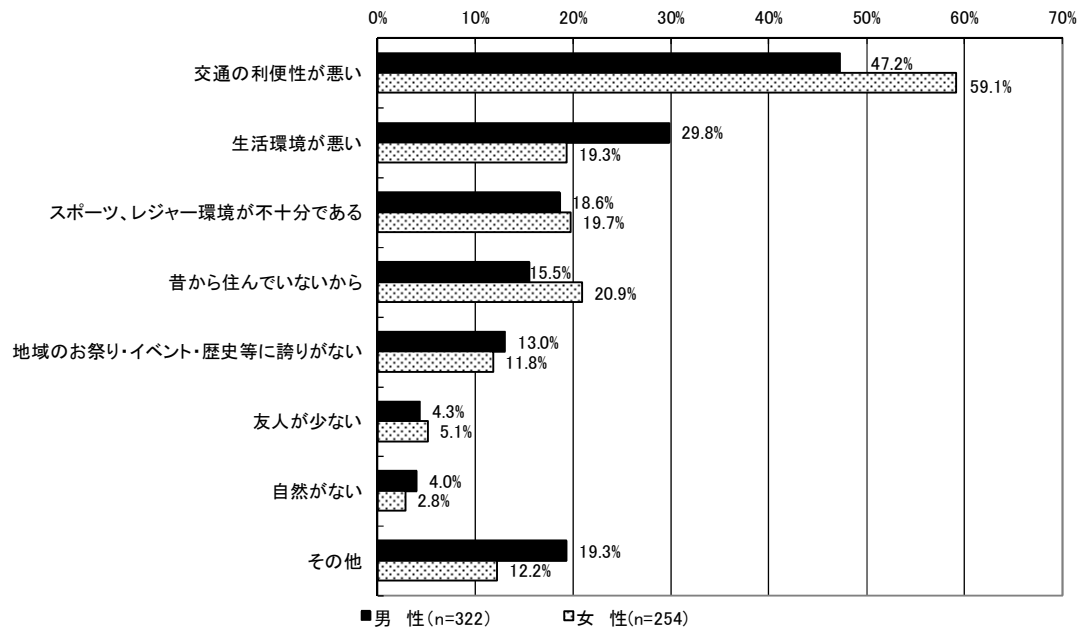
- ・“愛着はない”と感じる理由は、「交通の利便性が悪い」が52.4%で最も多い。次いで、「生活環境が悪い」が25.2%、「スポーツ、レジャー環境が不十分である」が19.1%、「昔から住んでいないから」が17.9%となっている。
- ・男女別では、男性で「生活環境が悪い」、女性で「交通の利便性が悪い」がそれぞれ高い回答割合となっている。

※回答数の少ない市町村が多いため、市町村別の図表は参考資料として掲載している。

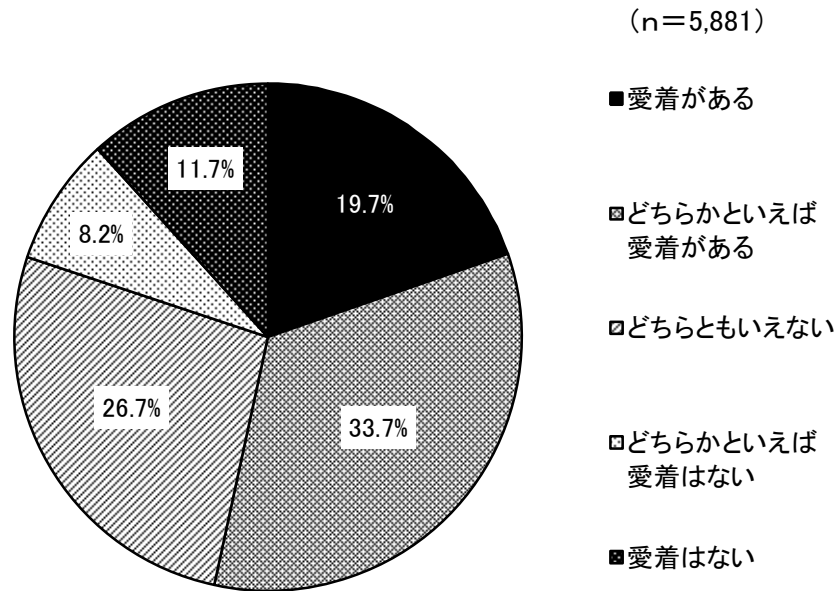
● 居住市町村別



●性別

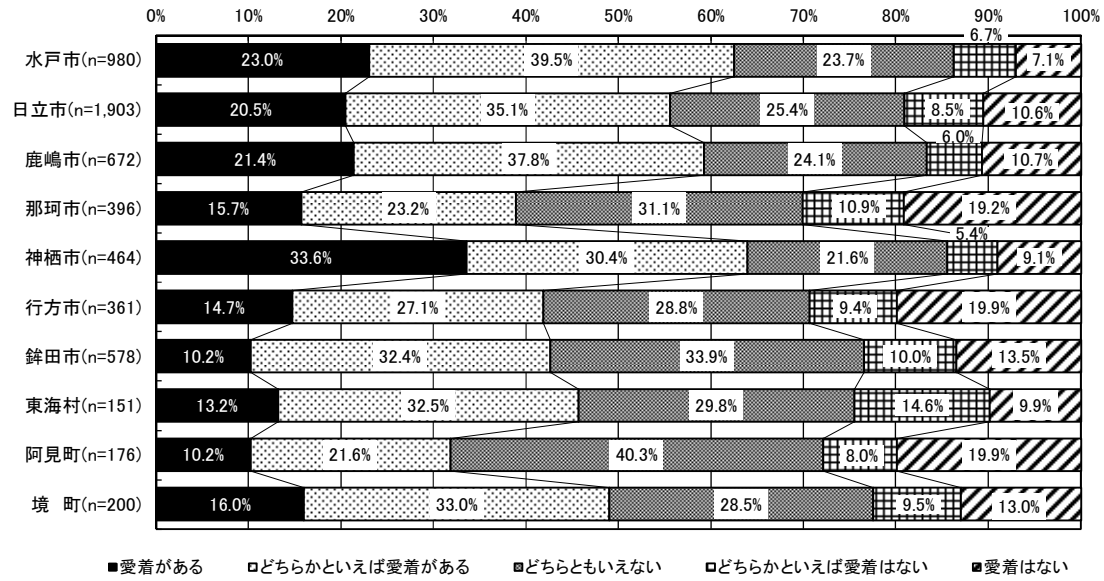


問4. あなたは学校のある市町村に愛着がありますか。当てはまる番号に○をつけてください。
(SA) お住まいの市町村と学校のある市町村が同じ場合でも回答してください。

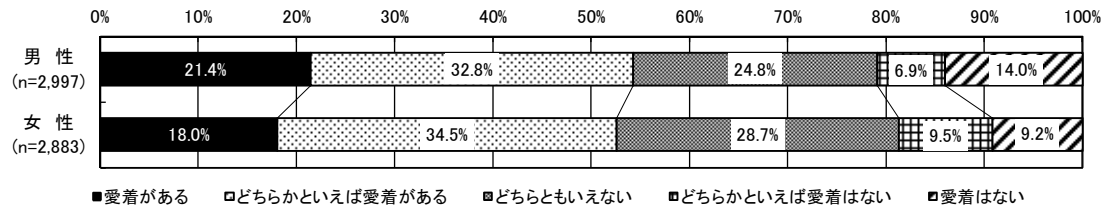


- 学校のある市町村に対する愛着は、「どちらかといえば愛着がある」が 33.7%で最も多い。次いで、「どちらともいえない」が 26.7%、「愛着がある」が 19.7%となっている。「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせ“愛着がある”と回答した割合は 53.4%となっている。
- 学校のある市町村別では、神栖市で“愛着がある”割合が 64.0%と、調査対象市町村の中で最も高い。また、水戸市でも“愛着がある”割合が 6割を超えている。
- 男女別では、それほど大きな回答差は見られない。

●学校のあり市町村別

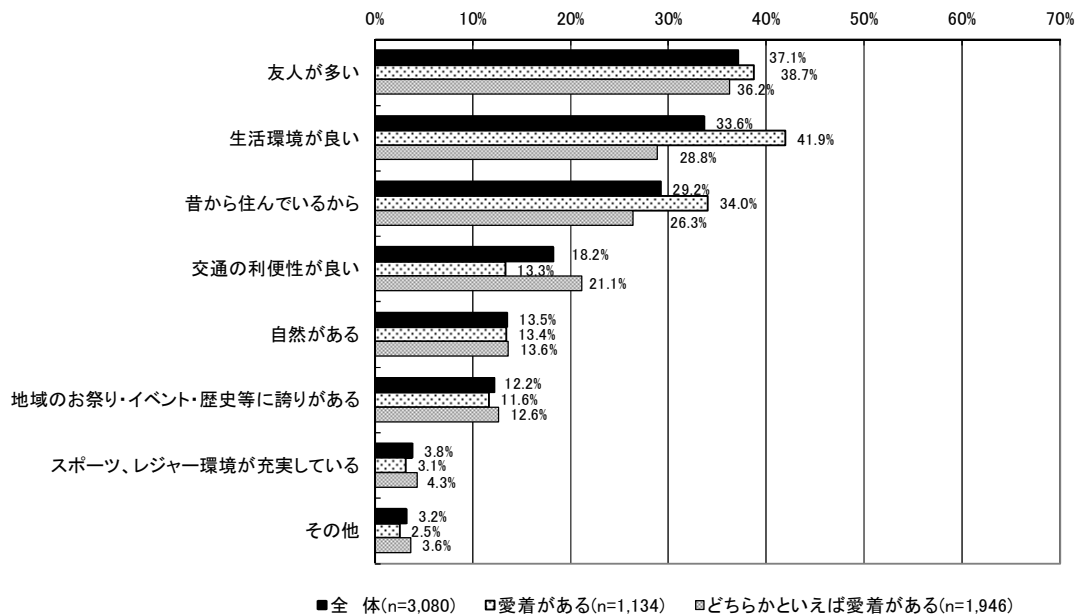


●性別



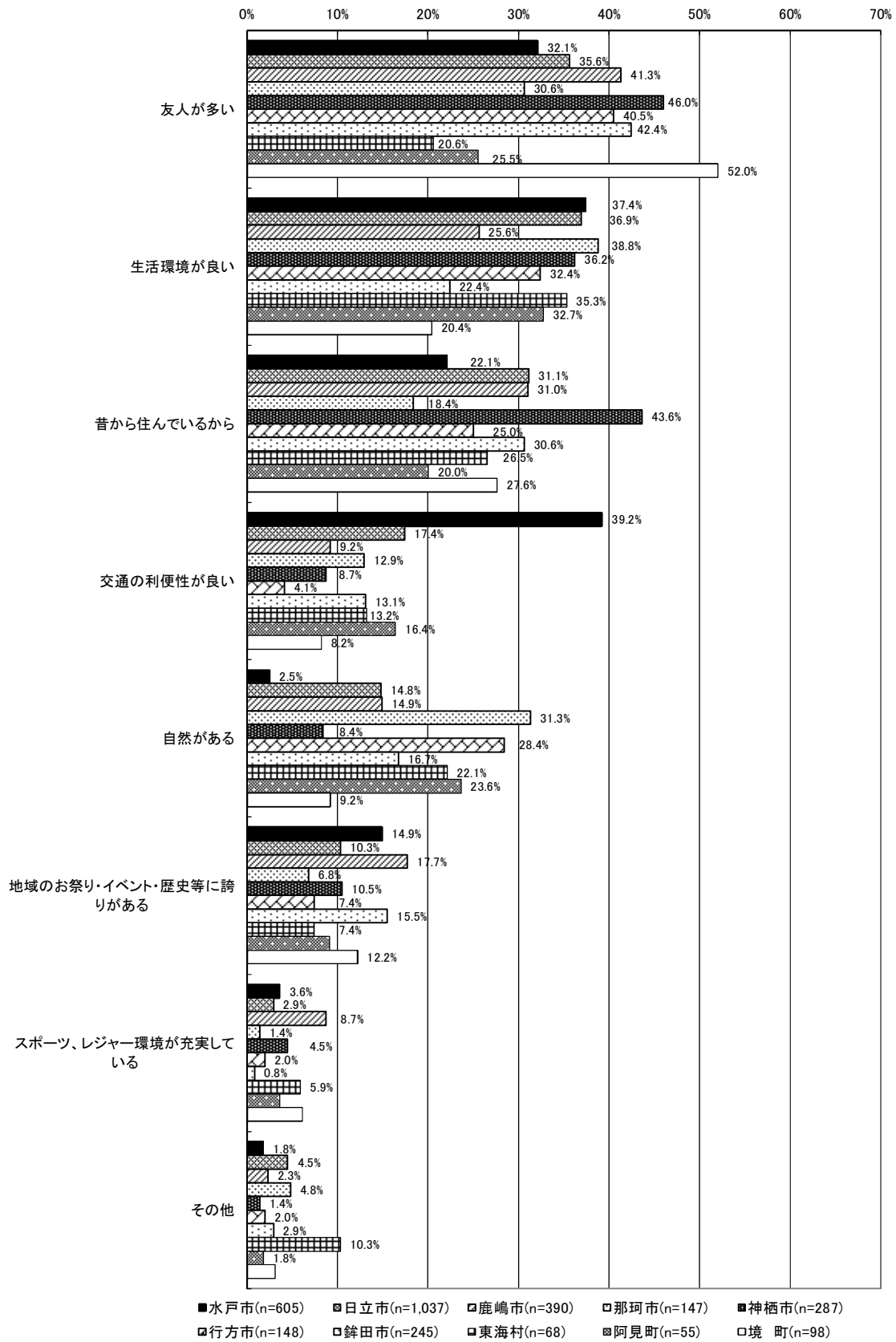
問5. あなたが学校のある市町村に「愛着がある」、「愛着はない」と感じる理由は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください。(MA:2)

(1) 愛着があると感じる理由(「愛着がある」、「どちらかといえば愛着がある」)

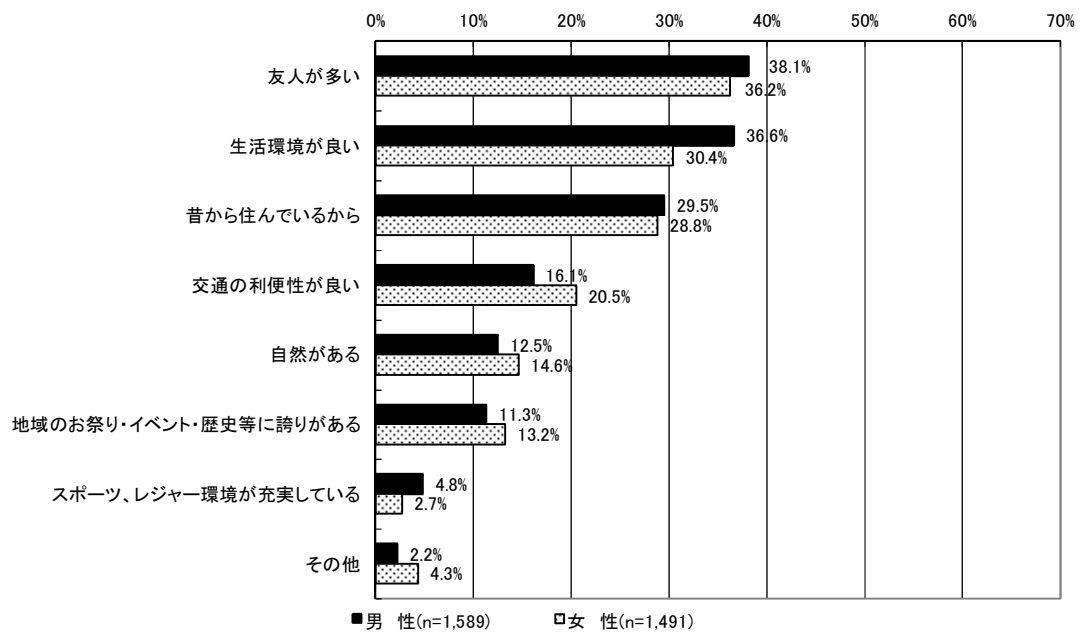


- ・学校のある市町村に愛着があると感じる理由は、「友人が多い」が37.1%で最も多い。次いで、「生活環境が良い」が33.6%、「昔から住んでいるから」が29.2%となっている。
- ・学校のある市町村別では、境町で「友人が多い」、神栖市で「昔から住んでいるから」、水戸市で「交通の利便性が良い」が他市町村に比べて高い回答割合となっている。
- ・男女別では、それほど大きな回答差は見られない。

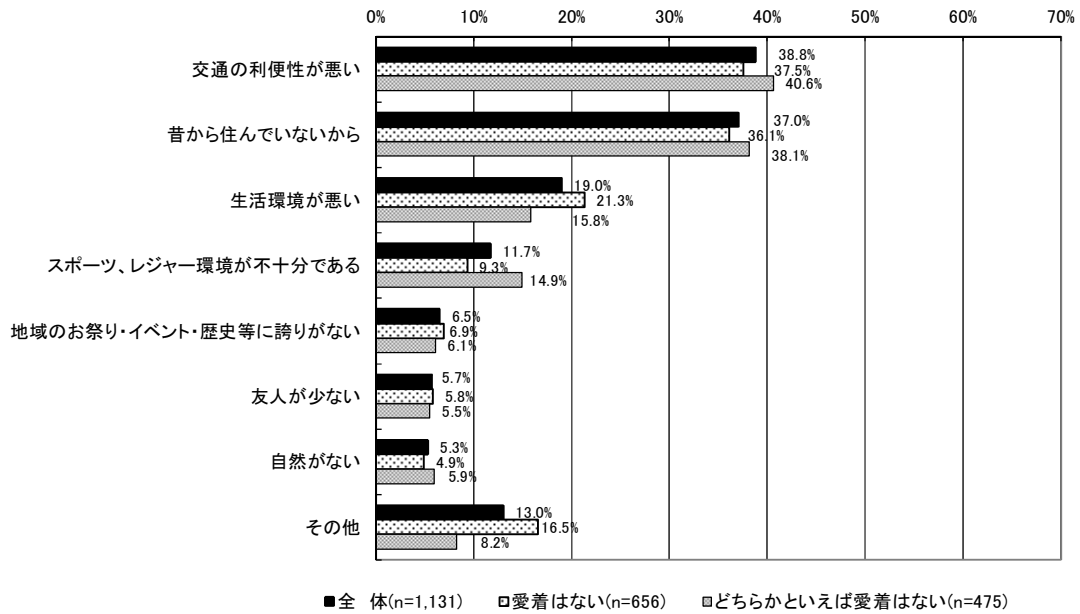
●学校のある市町村別



●性別

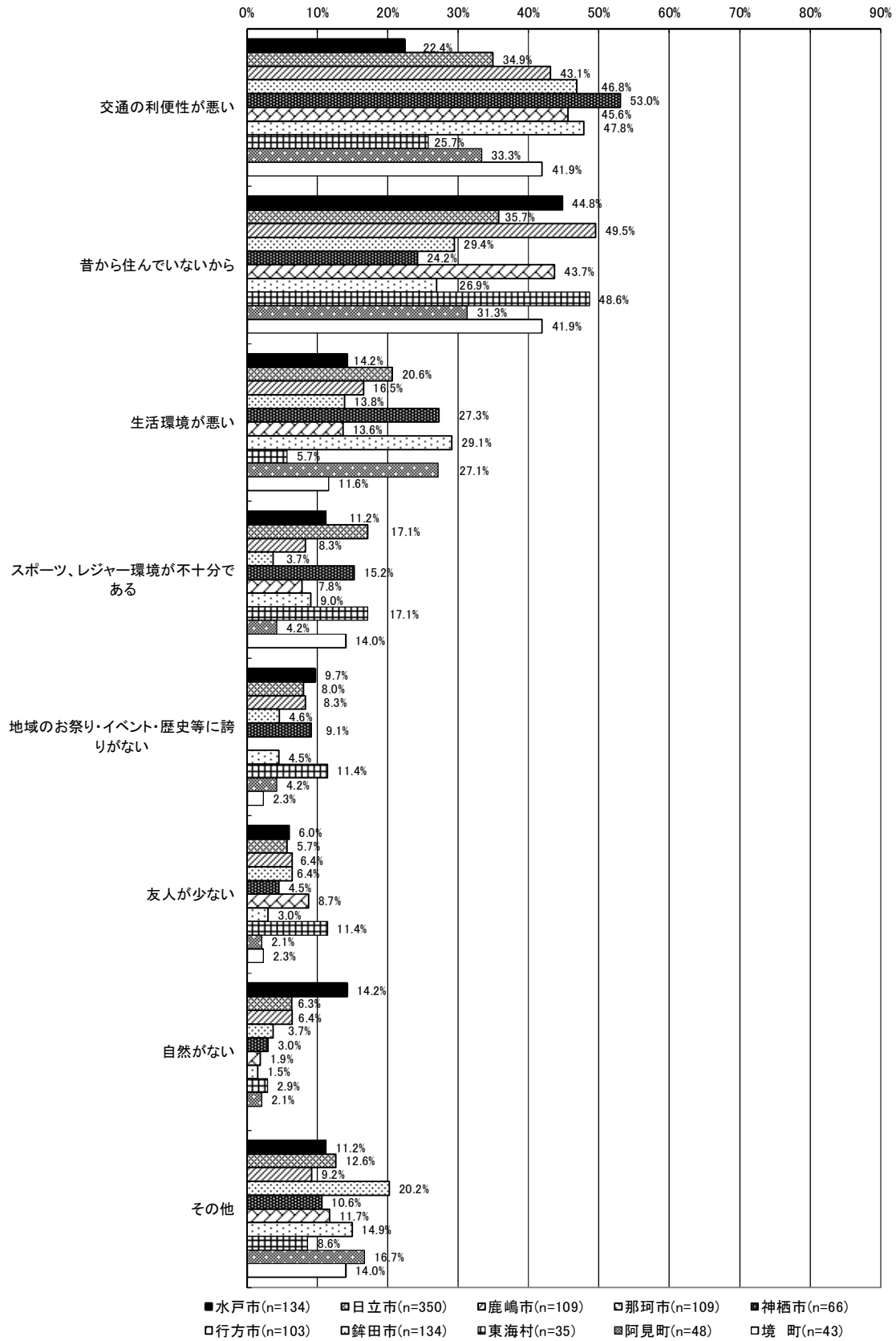


(2) 愛着はないと感じる理由(「愛着はない」、「どちらかといえば愛着はない」)

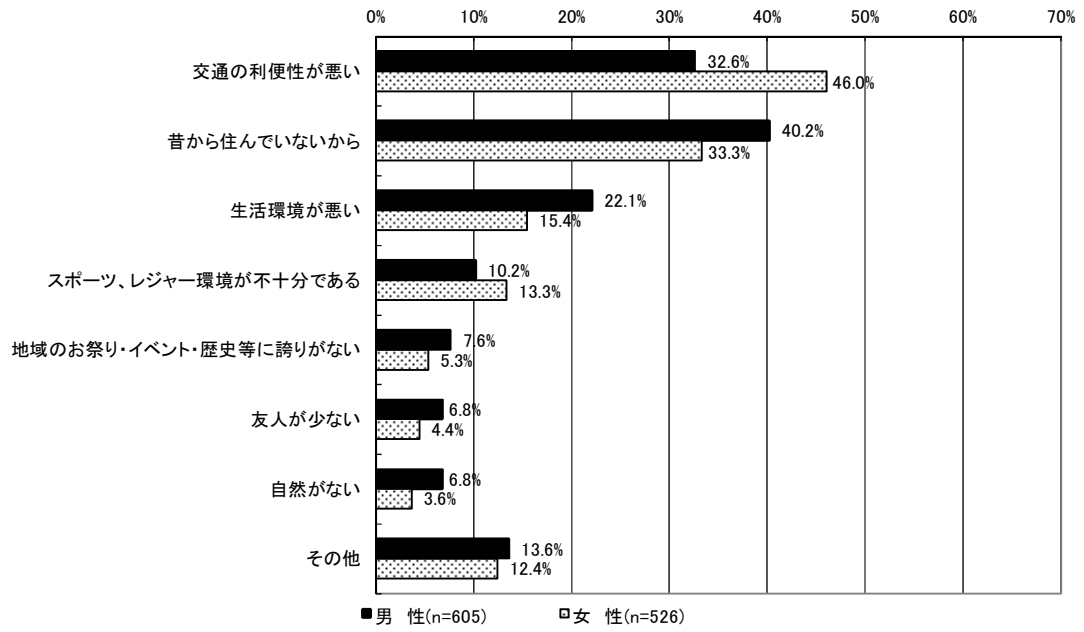


- ・学校のある市町村に“愛着はない”と感じる理由は、「交通の利便性が悪い」が38.8%で最も多い。次いで、「昔から住んでいないから」が37.0%、「生活環境が悪い」が19.0%となっている。
- ・学校のある市町村別では、神栖市で「交通の利便性が悪い」、鹿嶋市や東海村で「昔から住んでいないから」が他市町村に比べてやや高い回答割合となっている。
- ・男女別では、男性で「昔から住んでいないから」や「生活環境が悪い」、女性で「交通の利便性が悪い」がそれぞれ高い回答割合となっている。

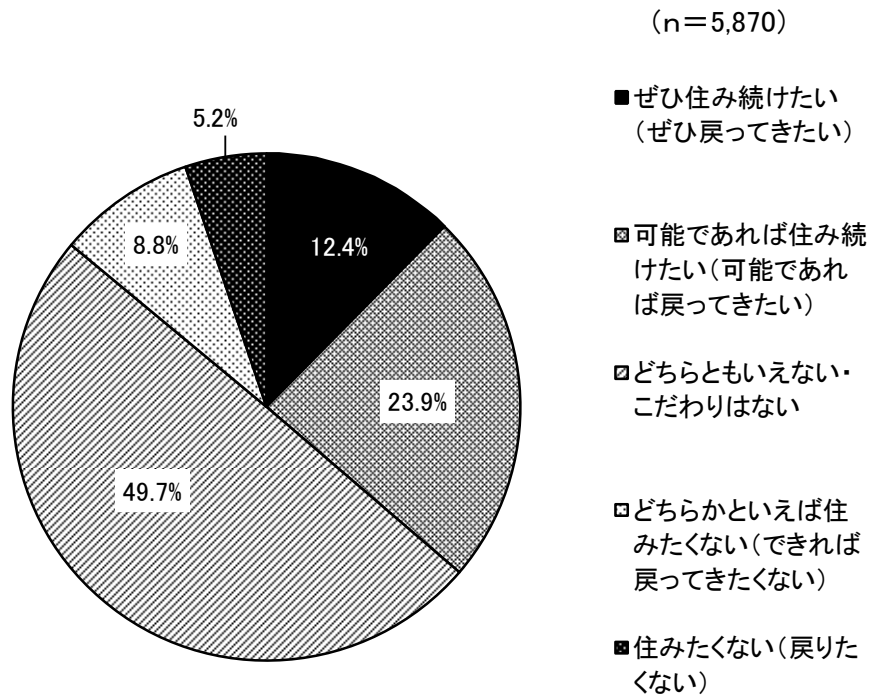
●学校のある市町村別



●性別

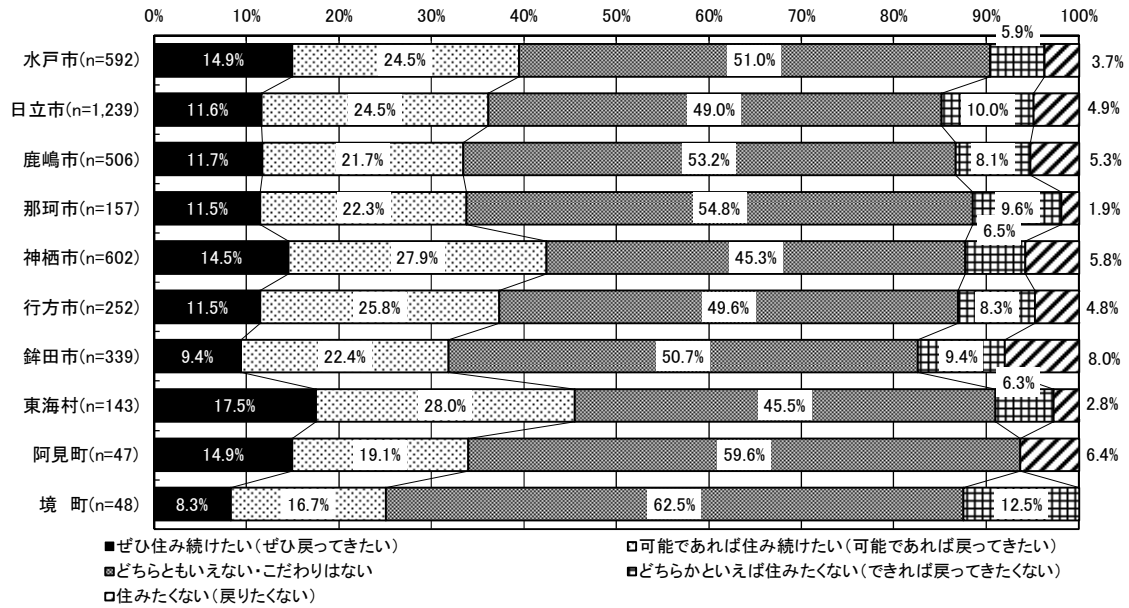


問6. あなたは、将来、今お住まいの市町村に住み続けたいと思いますか(または、進学、就職等で今のお住まいを一度出られた場合でも、同じ市町村または周辺地域に戻ってきたいと思いますか)。当てはまる番号に○をつけてください。(SA)

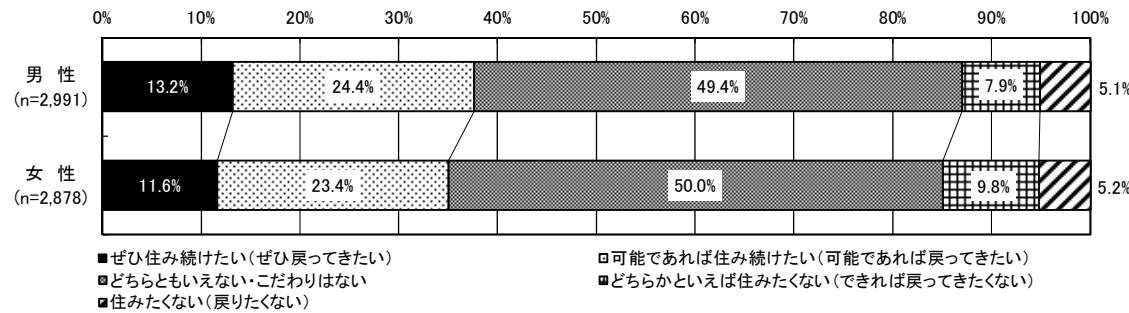


- ・将来の居住意向については、「どちらともいえない・こだわりはない」が49.7%で最も多い。次いで、「可能であれば住み続けたい(可能であれば戻ってきたい)」が23.9%、「ぜひ住み続けたい(ぜひ戻ってきたい)」が12.4%となっている。
「ぜひ住み続けたい(ぜひ戻ってきたい)」と「可能であれば住み続けたい(可能であれば戻ってきたい)」を合わせた“住み続けたい(戻ってきたい)”割合は36.3%と、3人にひとりが将来的な居住意向を持っている。
- ・居住市町村別では、東海村で“住み続けたい(戻ってきたい)”割合が45.5%と、調査対象市町村の中で最も高い。このほか、神栖市でも“住み続けたい(戻ってきたい)”割合が40%を超えている。一方、境町の“住み続けたい(戻ってきたい)”割合は25.0%と、東海村に比べて20ポイント低くなっている。
- ・男女別による居住意向の差はみられない。

● 居住市町村別

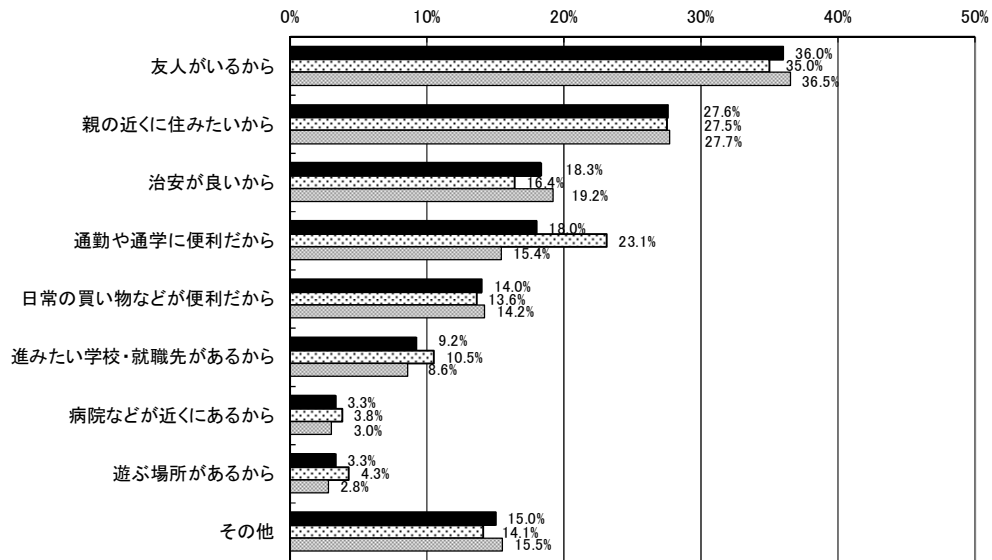


● 性別



問7.【問6で「ぜひ住み続けたい(ぜひ戻ってきたい)」、「可能であれば住み続けたい(可能であれば戻ってきたい)」とお答えの方】

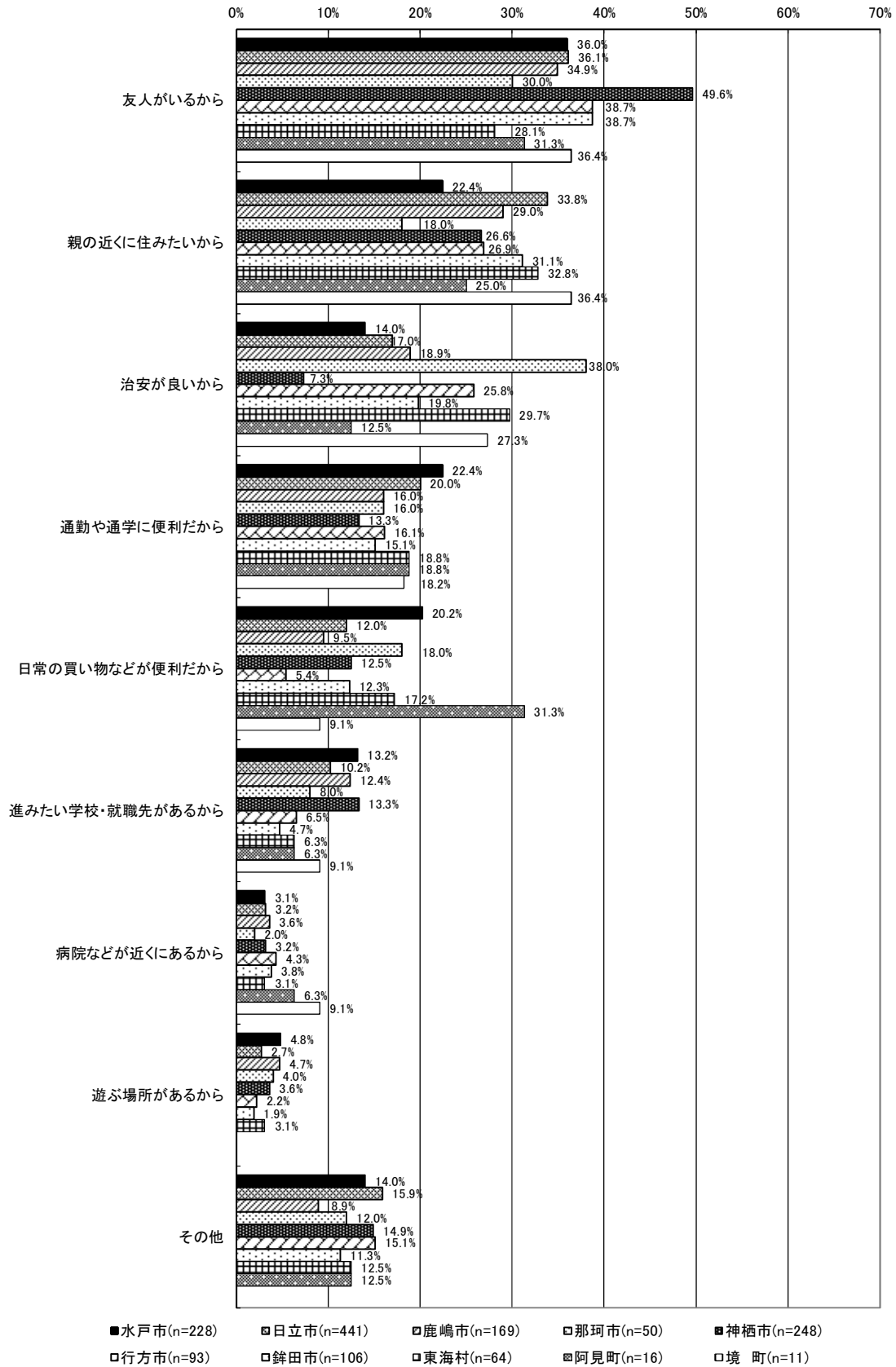
あなたが今お住まいの市町村に「住み続けたい(戻りたい)」とお考えの理由は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください。(MA:2)



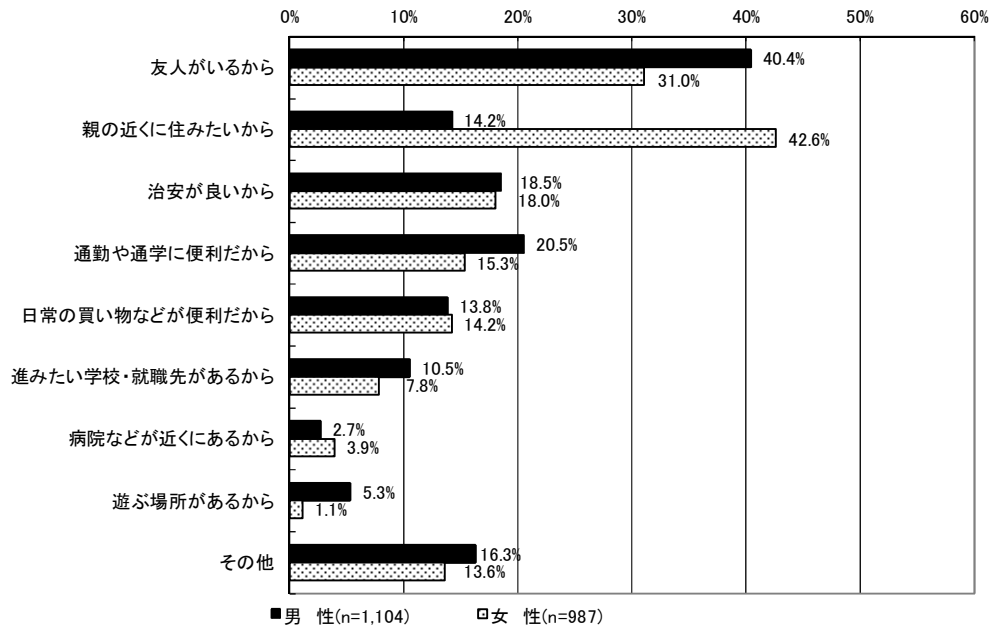
■全体(n=2,091) □ぜひ住み続けたい(ぜひ戻ってきたい)(n=714) ▨可能であれば住み続けたい(可能であれば戻ってきたい)(n=1,377)

- ・現在居住している市町村に“住み続けたい(戻りたい)”と考える理由は、「友人がいるから」が36.0%で最も多い。次いで、「親の近くに住みたいから」が27.6%、「治安が良いから」が18.3%、「通勤や通学に便利だから」が18.0%となっている。
- ・居住市町村別では、神栖市で「友人がいるから」、那珂市で「治安が良いから」が他市町村に比べて高い回答割合となっている。
- ・男女別では、男性で「友人がいるから」や「通勤や通学に便利だから」が高くなっている。また、「親の近くに住みたいから」は、女性において圧倒的に高い回答割合となっている。

● 居住市町村別

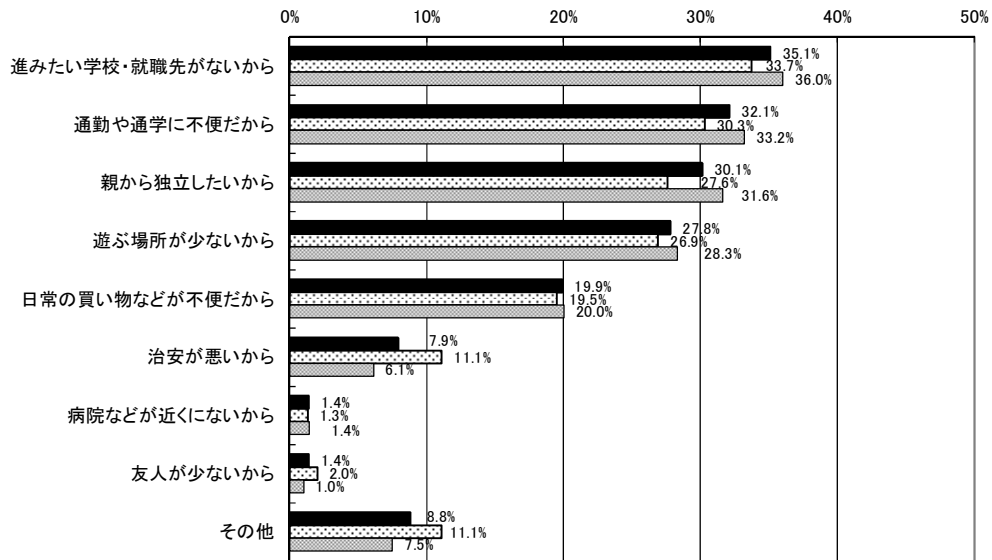


●性別



問 8. 【問6で「住みたくない(戻りたくない)」、「どちらかといえば住みたくない(できれば戻ってきたくない)」とお答えの方】

あなたが今お住まいの市町村に「住み続けたくない(戻りたくない)」とお考えの理由は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください。(MA:2)

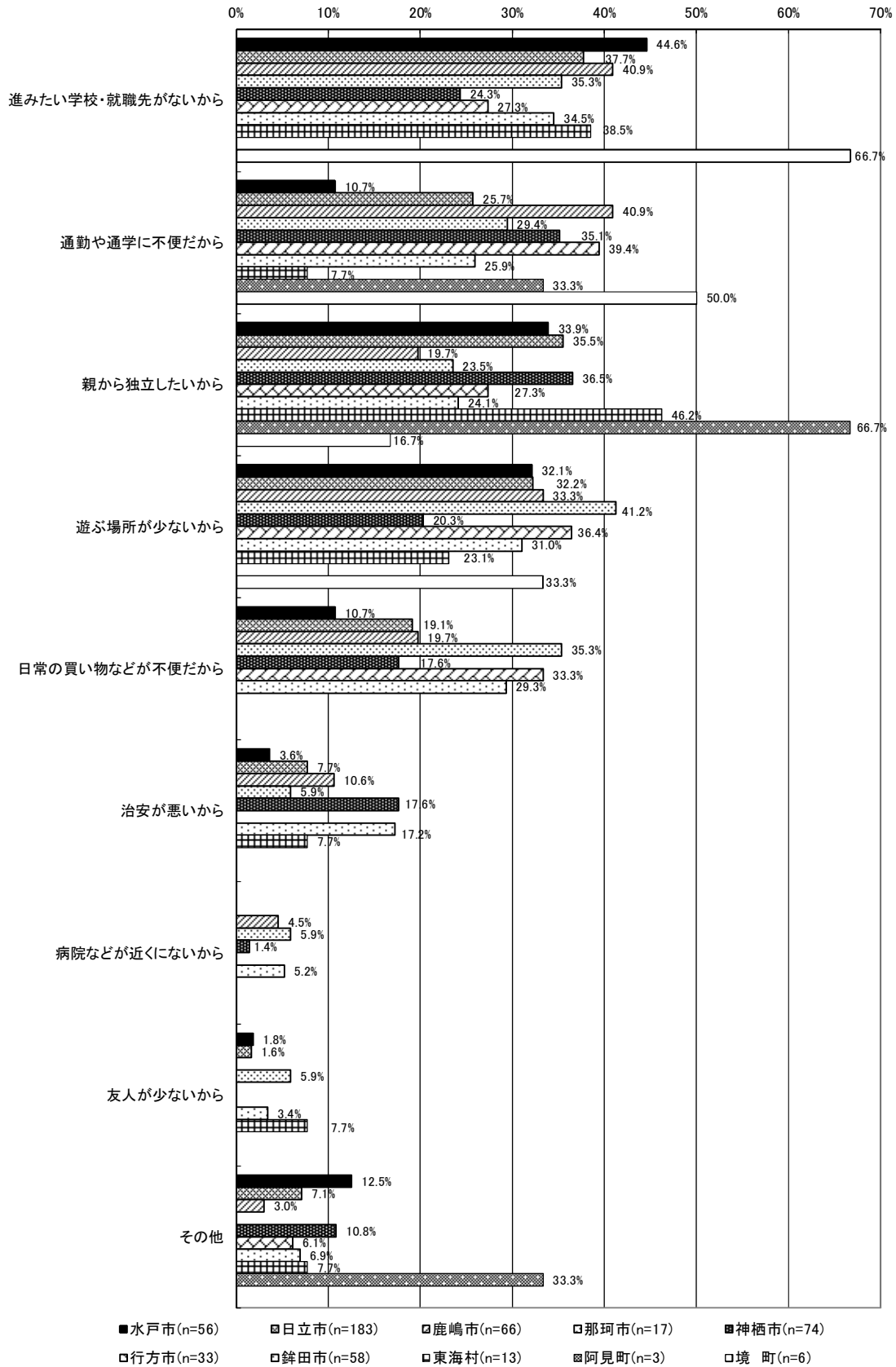


■全 体(n=806) □住みたくない(戻りたくない)(n=297) □どちらかといえば住みたくない(できれば戻ってきたくない)(n=509)

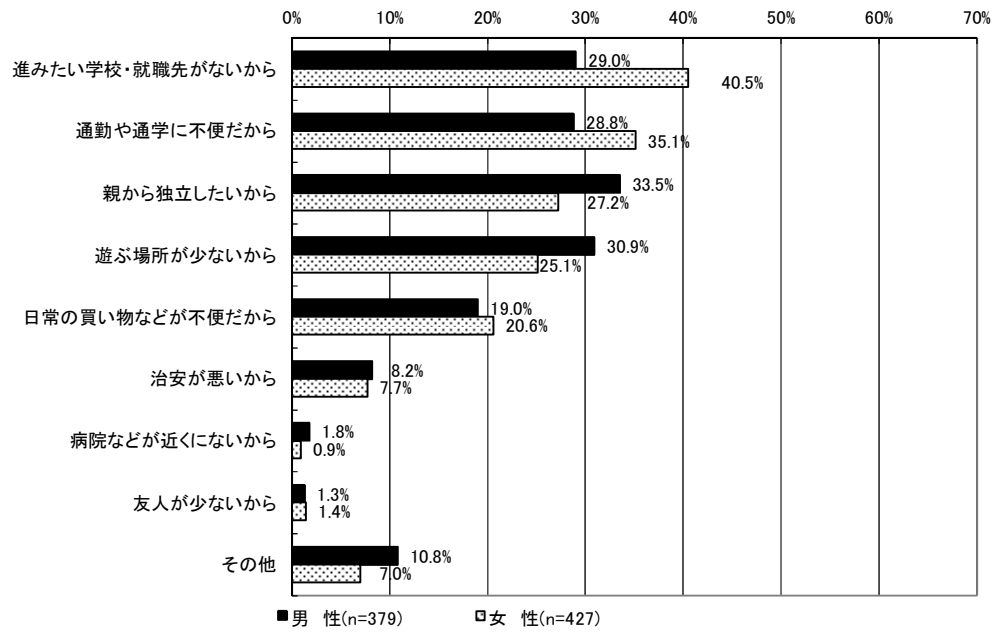
- ・現在居住している市町村に「住みたくない(戻りたくない)」と考える理由は、「進みたい学校・就職先がないから」が35.1%で最も多い。次いで、「通勤や通学に不便だから」が32.1%、「親から独立したいから」が30.1%、「遊ぶ場所が少ないから」が27.8%となっている。
- ・男女別では、男性で「親から独立したいから」や「遊ぶ場所が少ないから」、女性で「進みたい学校・就職先がないから」や「通勤や通学に不便だから」がそれぞれ高い回答割合となっている。

※回答数の少ない市町村が多いため、市町村別の図表は参考資料として掲載している。

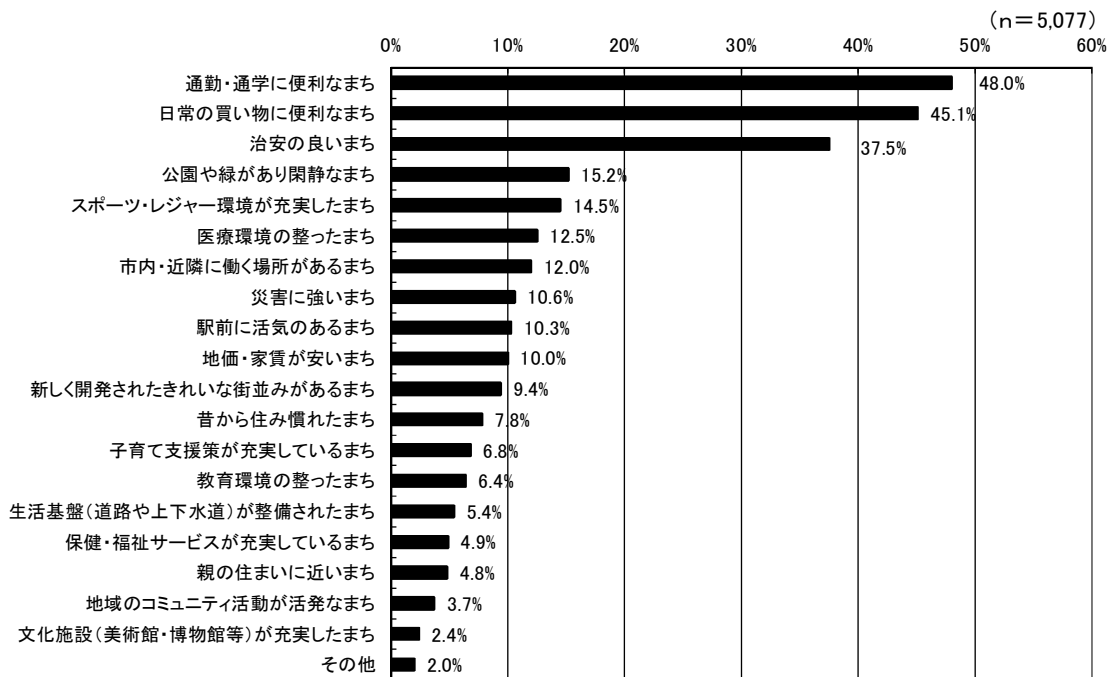
● 居住市町村別



●性別

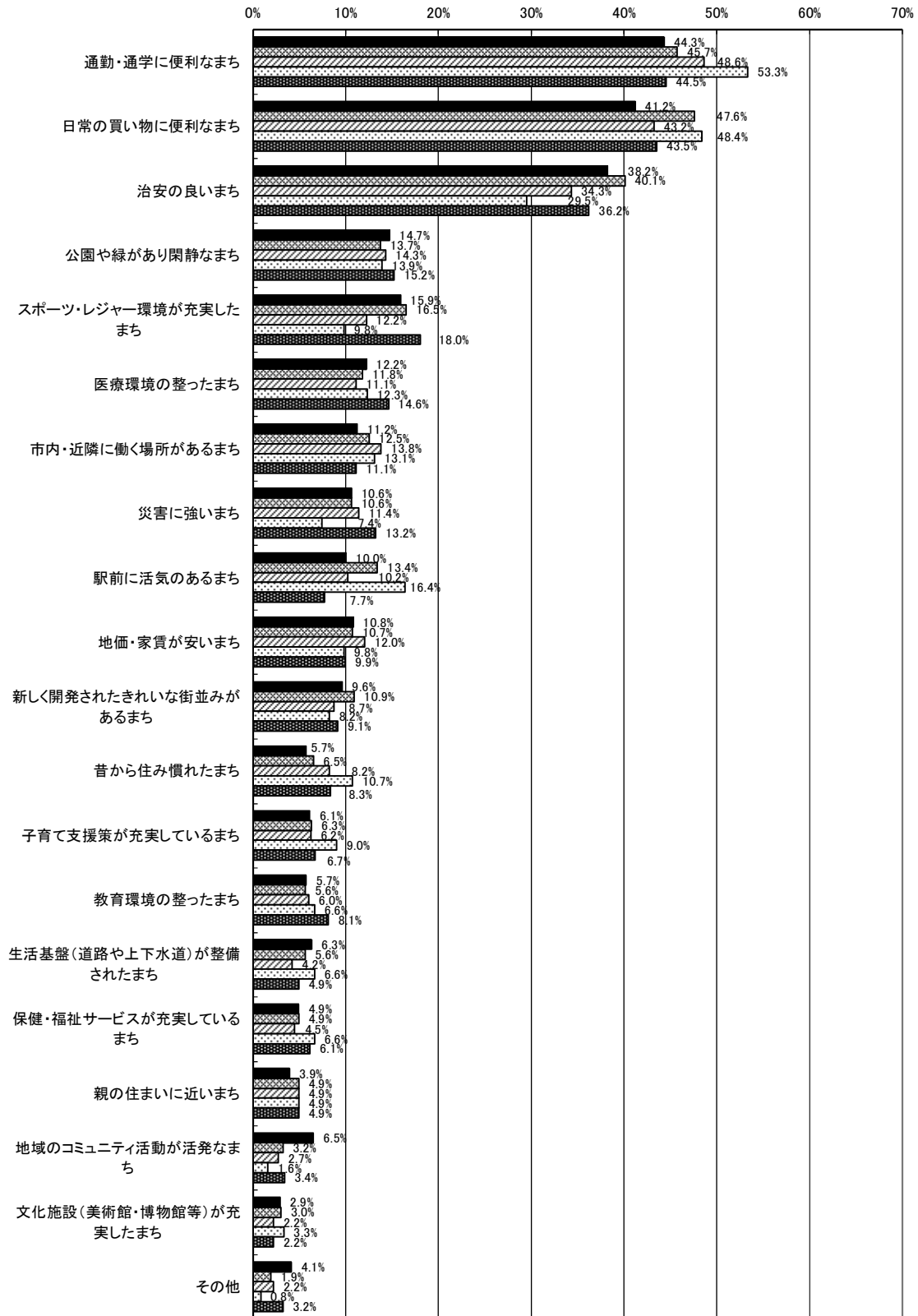


問9. あなたは、将来、どのようなまちに住んでみたいと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。(MA:3)

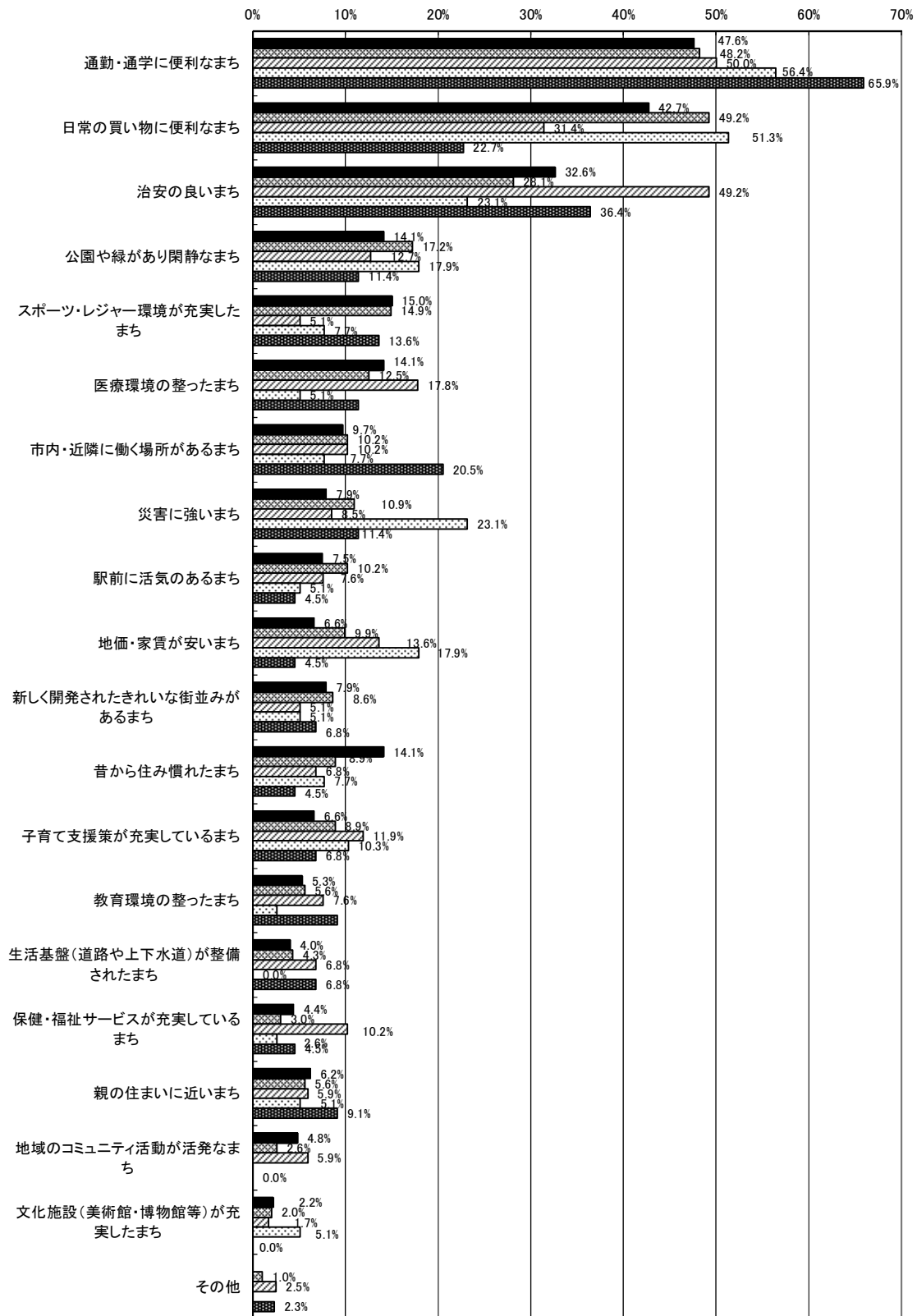


- ・将来、住みたいまちについては、「通勤・通学に便利なまち」が48.0%で最も多い。次いで、「日常の買い物に便利なまち」が45.1%、「治安の良いまち」が37.5%となっている。
- ・居住市町村別では、阿見町では「災害に強いまち」が、境町では「市内・近隣に働く場所があるまち」が、それぞれ他市町村と比べて高い回答割合となっている。この他、東海村で「治安の良いまち」の割合が40%以上となっている。
- ・男女別では、男性で「スポーツ・レジャー環境が充実したまち」が高い回答割合となっている。また、女性では「日常の買い物に便利なまち」、「子育て支援策が充実しているまち」、「親の住まいに近いまち」が、それぞれ高い回答割合となっている。

●居住市町村別

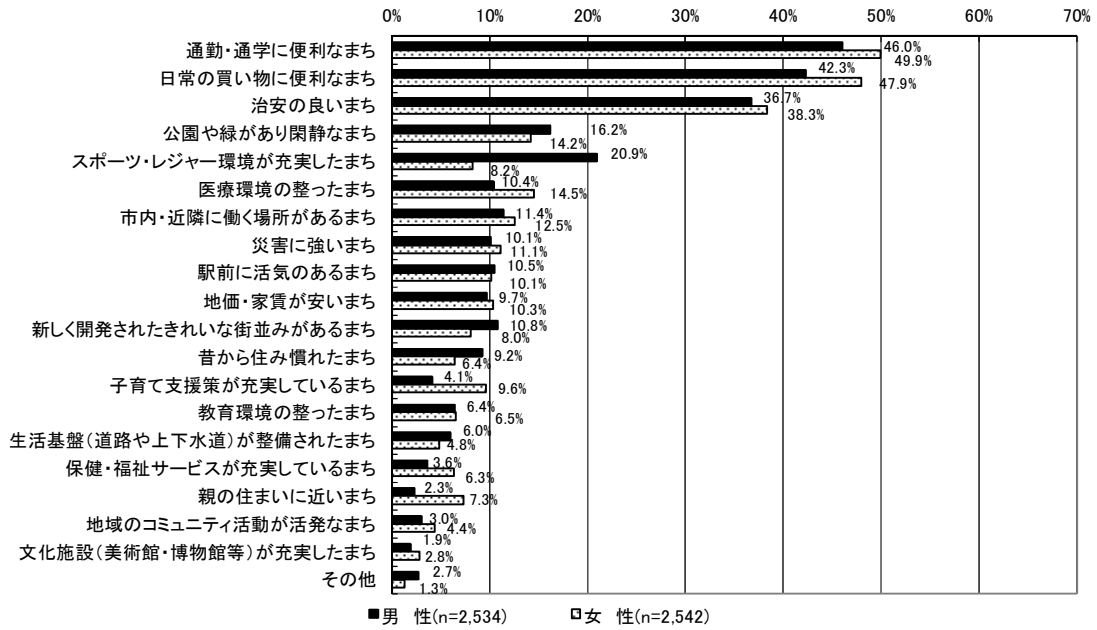


■水戸市(n=510) ▨日立市(n=1,072) ▩鹿嶋市(n=449) ▨那珂市(n=122) ■神栖市(n=506)



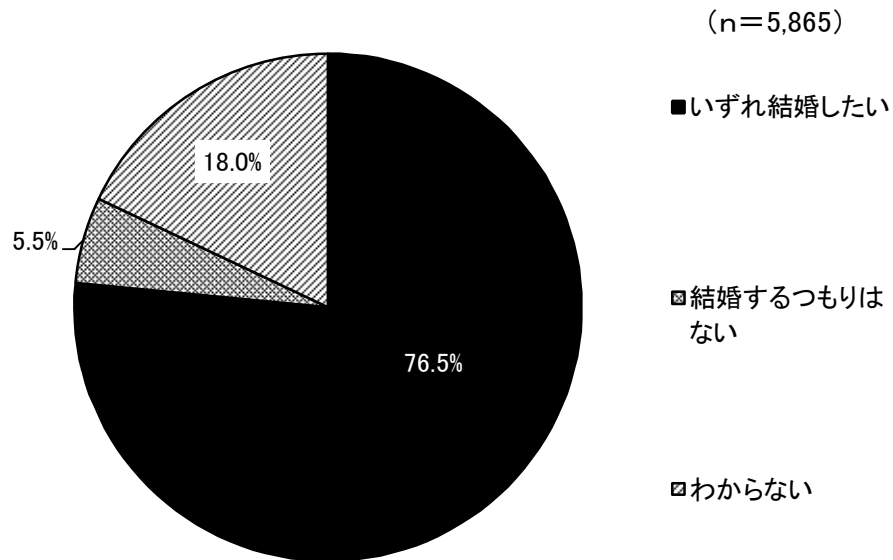
■行方市(n=227) □銚田市(n=303) □東海村(n=118) □阿見町(n=39) ■境町(n=44)

●性別



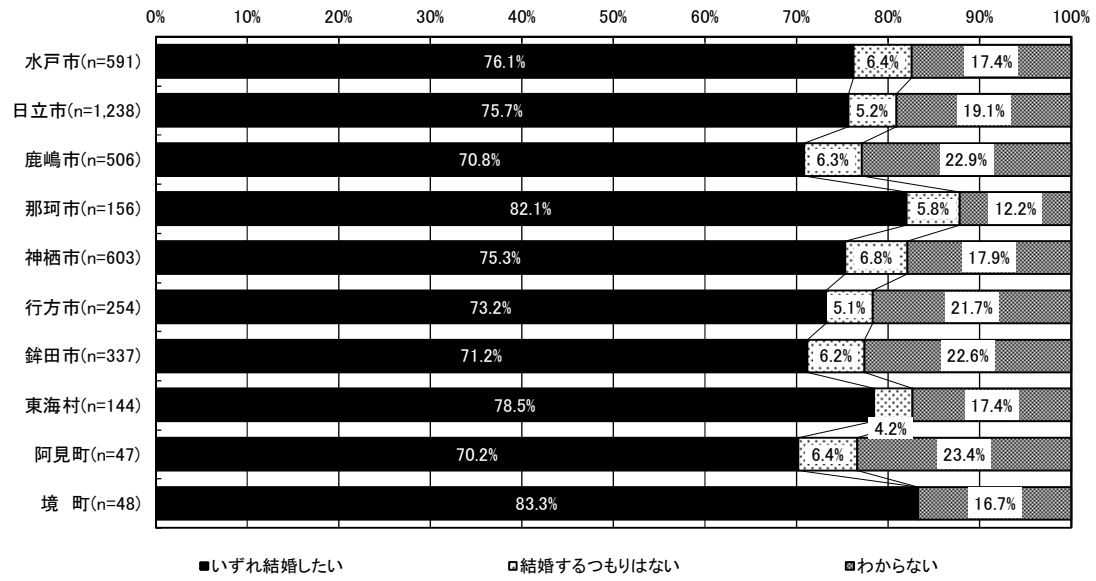
3. 結婚観や子どもについての希望

問 10. 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えについて、当てはまる番号に○をつけてください。(SA)

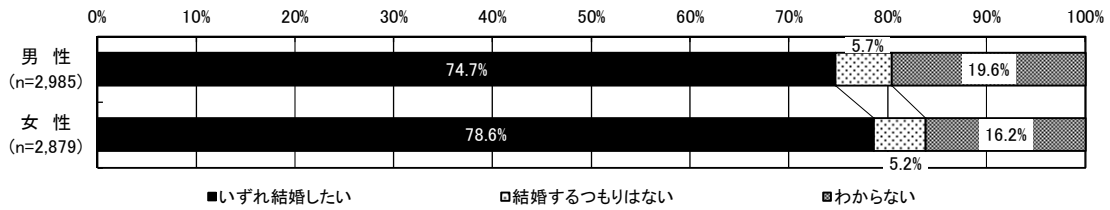


- ・結婚に対する考えについては、「いずれ結婚したい」が76.5%を占め、「結婚するつもりはない」は5.5%にとどまる。
- ・居住市町村別では、境町、那珂市で「いずれ結婚したい」割合が80%を超えている。
- ・男女別では、女性で「いずれ結婚したい」割合がやや高くなっている。

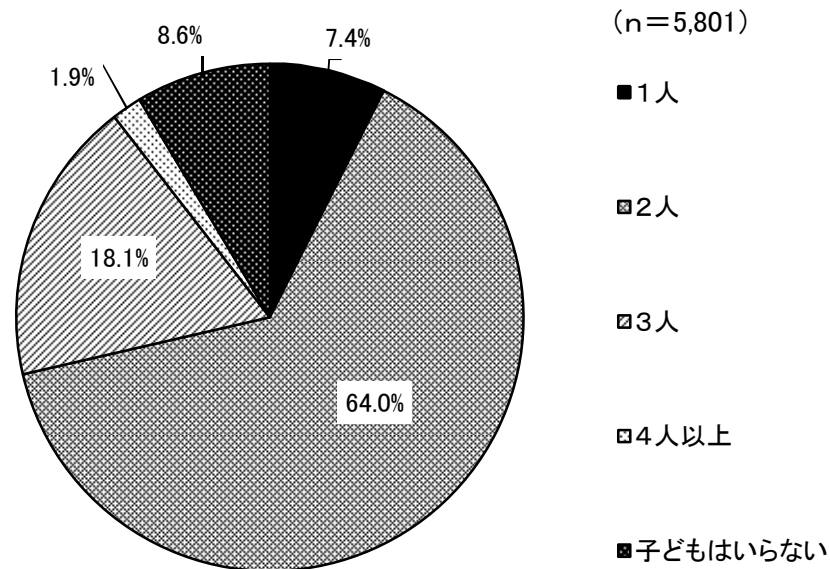
● 居住市町村別



● 性別



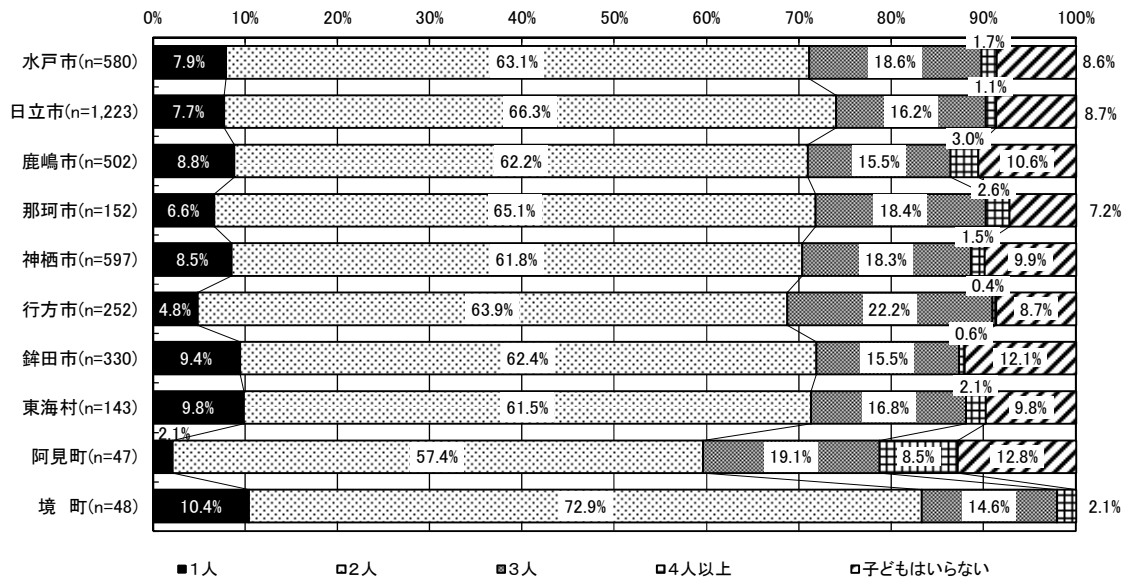
問 11. 子どもは何人くらい欲しいですか。当てはまる番号に○をつけてください。(SA)



	全 体
平均人数	1.97

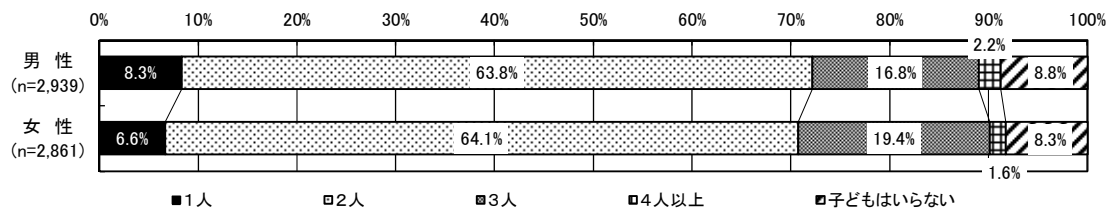
- ・子どもの人数については、「2人」が64.0%で最も多い。次いで、「3人」が18.1%、「子どもはいらない」が8.6%、「1人」が7.4%となっている。全体の84.0%が2人以上の子どもを希望している。
なお、希望する子どもの平均人数は1.97人となっている。
- ・居住市町村別では、阿見町や境町、那珂市、行方市で平均人数が2人を超えている。一方で、銚田市では3人以上を希望する割合が低く、平均人数は1.83人とどまる。
- ・男女別では、女性の希望する平均人数が男性をやや上回る。

● 居住市町村別



	水戸市	日立市	鹿嶋市	那珂市	神栖市
平均人数	1.97	1.93	1.92	2.03	1.93
	行方市	鉾田市	東海村	阿見町	境町
平均人数	2.01	1.83	1.92	2.09	2.08

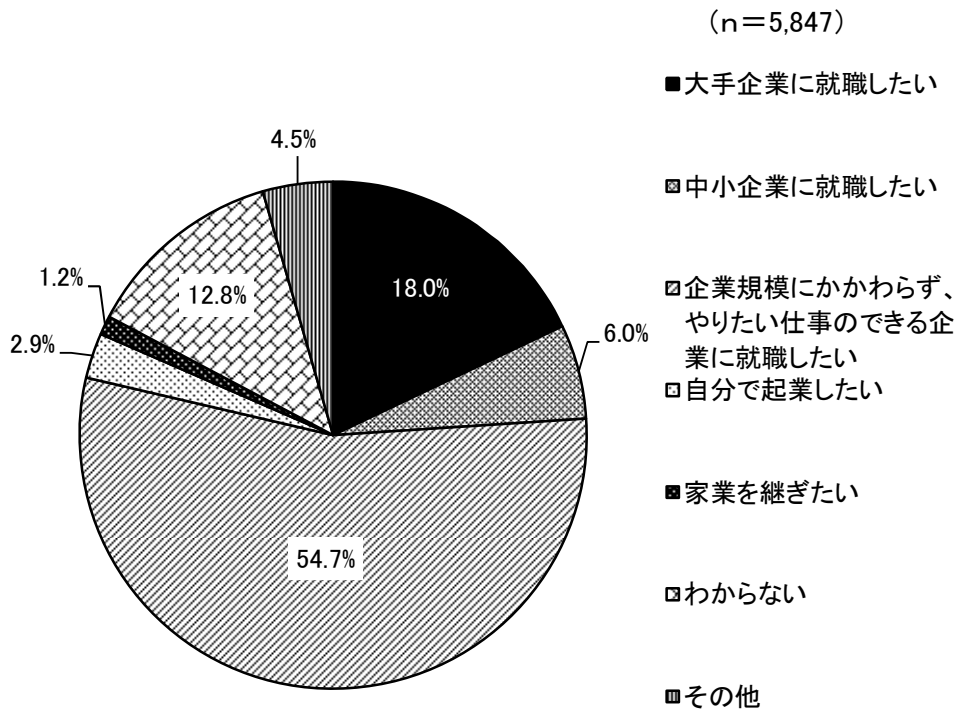
● 性別



	男性	女性
平均人数	1.95	1.99

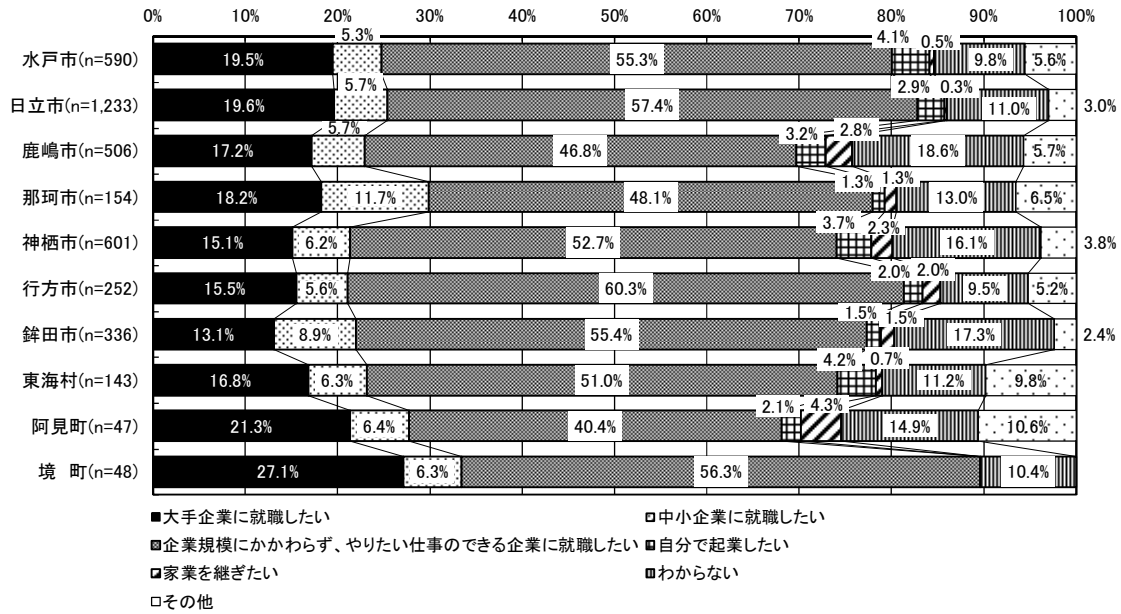
4. 就職や働き方に対する希望

問 12. 将来、もしあなたが働く場合、就職や働き方に対する希望はありますか。当てはまる番号に○をつけてください。(SA)

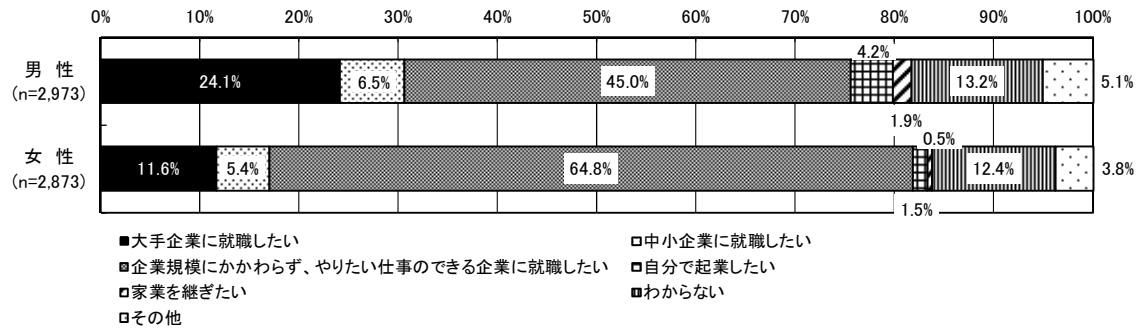


- ・将来の就職や働き方に対する希望については、「企業規模にかかわらず、やりたい仕事のできる企業に就職したい」が 54.7%で最も多い。次いで、「大手企業に就職したい」が 18.0%、「わからない」が 12.8%となっている。
- ・居住市町村別では、行方市で「企業規模にかかわらず、やりたい仕事のできる企業に就職したい」割合が 6 割を超えている。一方、境町では「大手企業に就職したい」が、他市町村と比べ高い回答割合となっている。
- ・男女別では、男性で「大手企業に就職したい」、女性で「企業規模にかかわらず、やりたい仕事のできる企業に就職したい」がそれぞれ高い回答割合となっている。

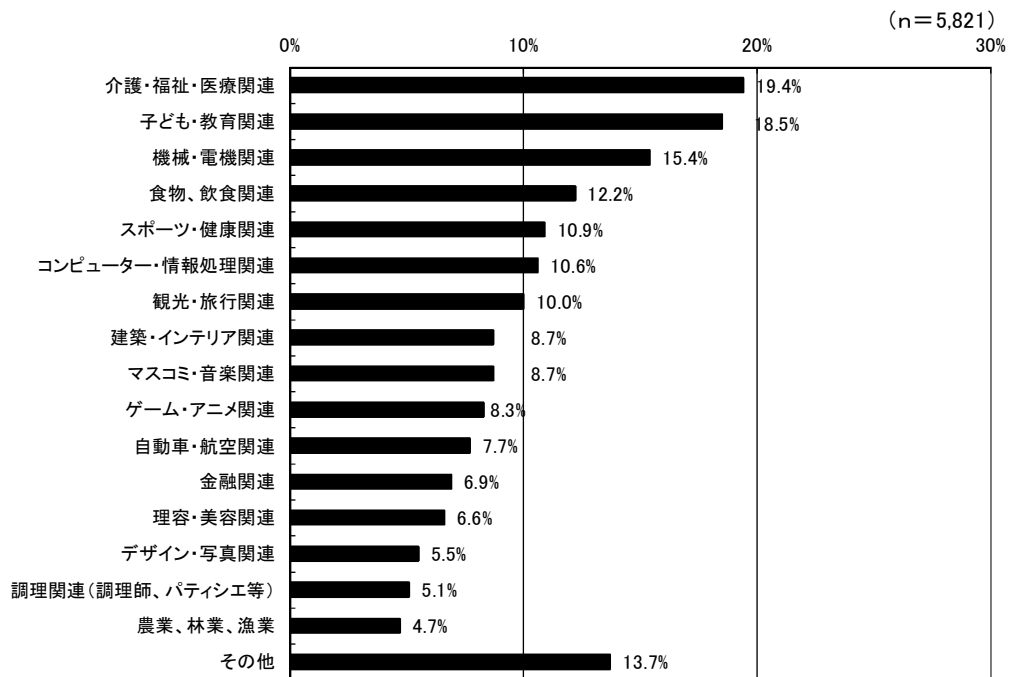
● 居住市町村別



● 性別

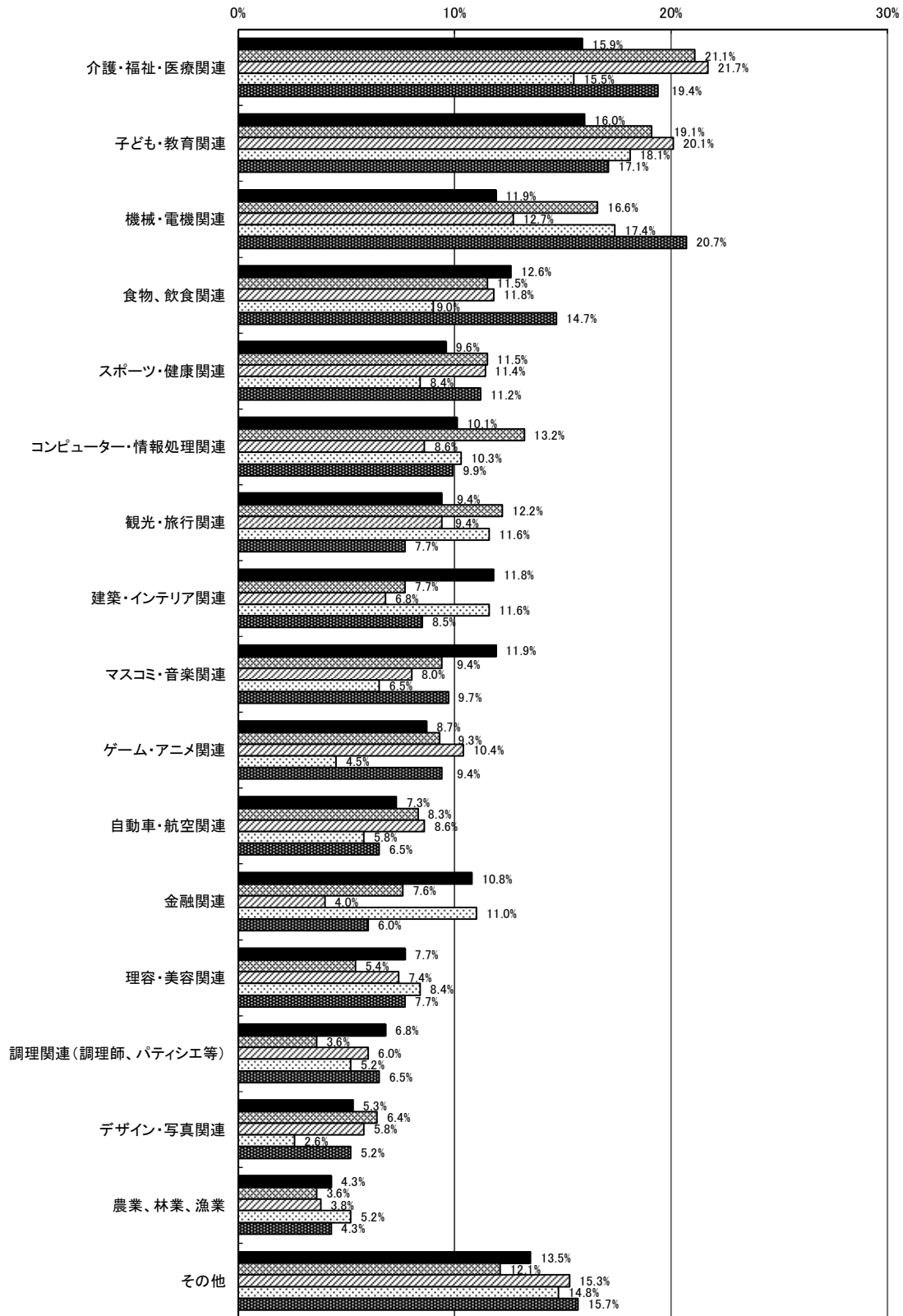


問 13. あなたはどのような分野の仕事に就きたいと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください(MA:3)

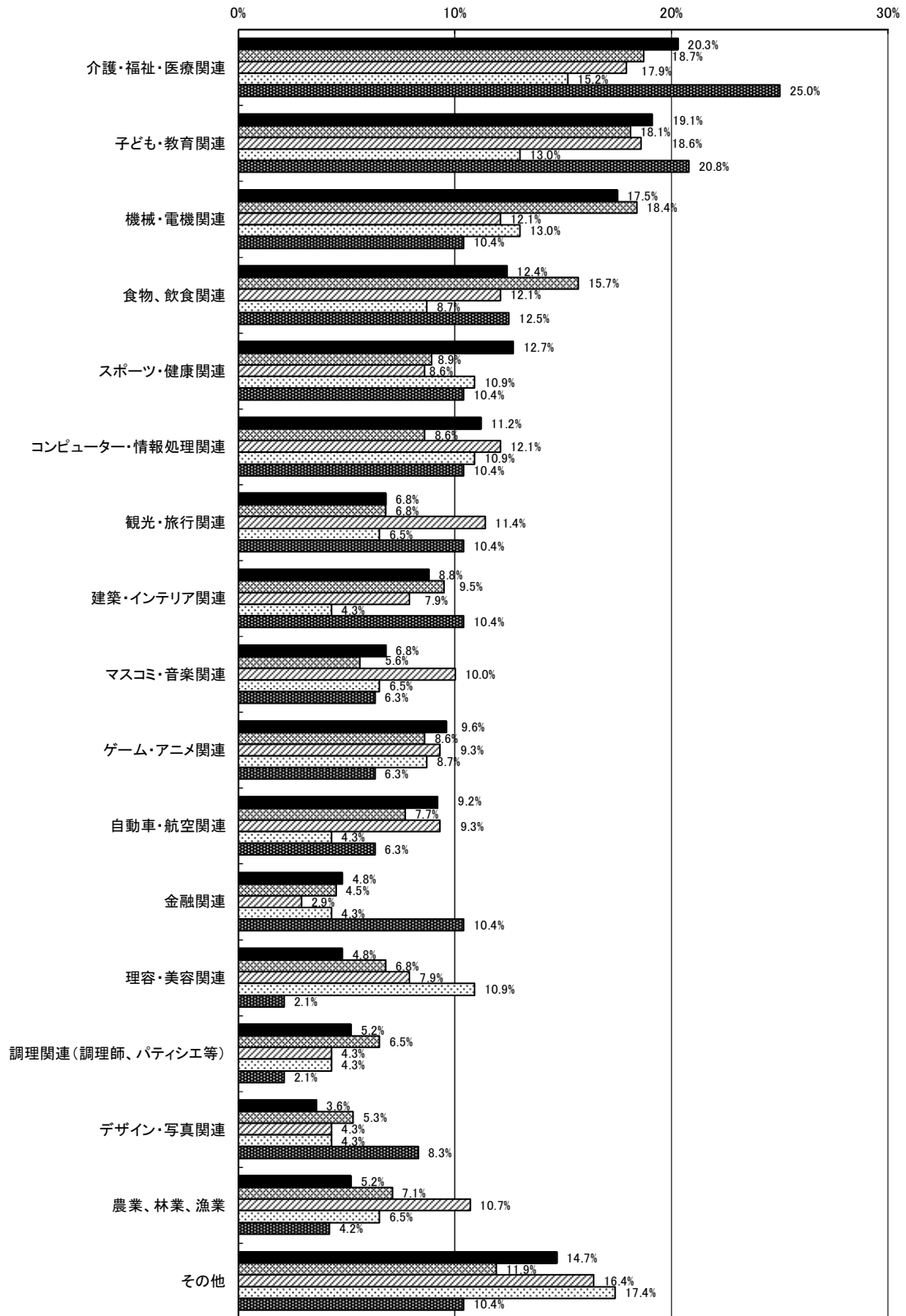


- ・希望する仕事の分野は、「介護・福祉・医療関連」が19.4%で最も高い。次いで、「子ども・教育関連」が18.5%、「機械・電機関連」が15.4%となっている。
なお、「その他」としては、「公務員」が比較的多数見られた。
- ・居住市町村別では、境町では「介護・福祉・医療関連」が、神栖市では「機械・電機関連」が、それぞれ他市町村と比べ高い回答割合となっている。
- ・男女別では、男性では「機械・電機関連」が最も多く、「スポーツ・健康関連」、「コンピューター・情報処理関連」がこれに続いている。女性では「介護・福祉・医療関連」、「子ども・教育関連」が多い。

●居住市町村別

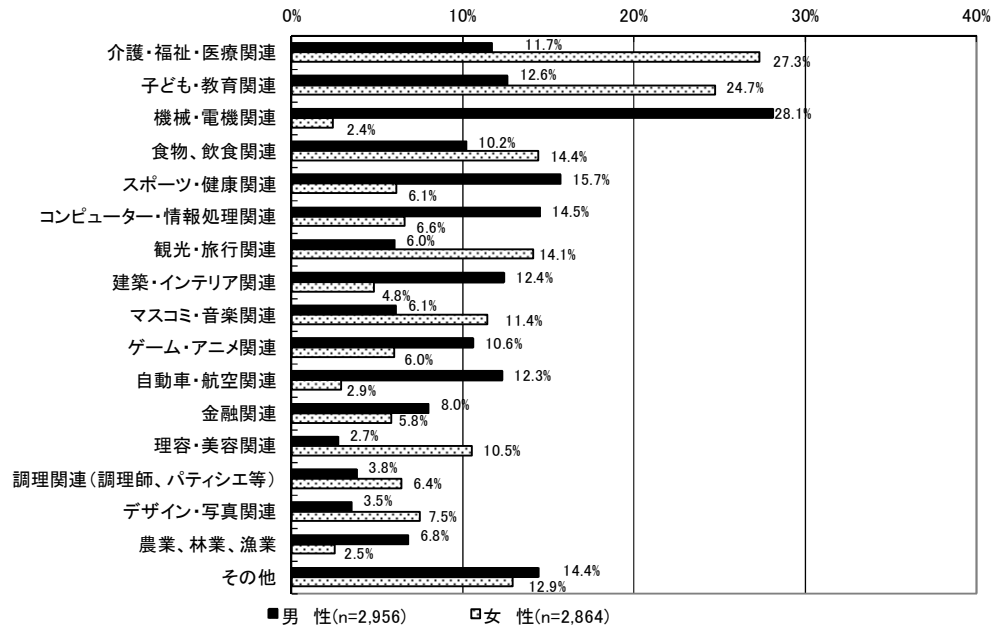


■水戸市(n=586) ■日立市(n=1,231) ■鹿嶋市(n=502) ■那珂市(n=155) ■神栖市(n=598)

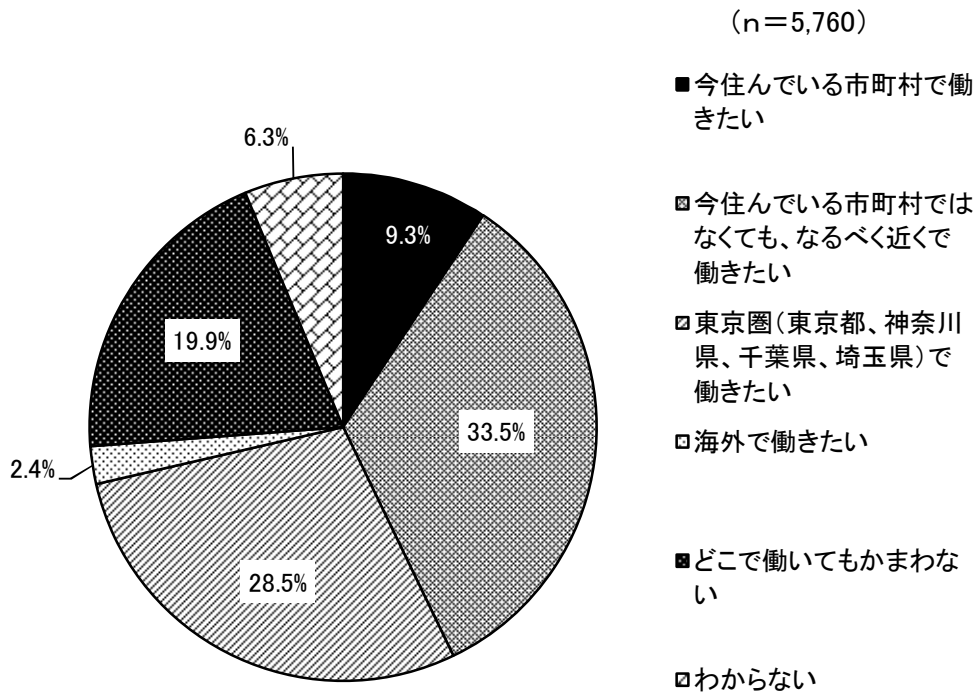


■行方市(n=251) □銚田市(n=337) □東海村(n=140) □阿見町(n=46) ■境町(n=48)

●性別

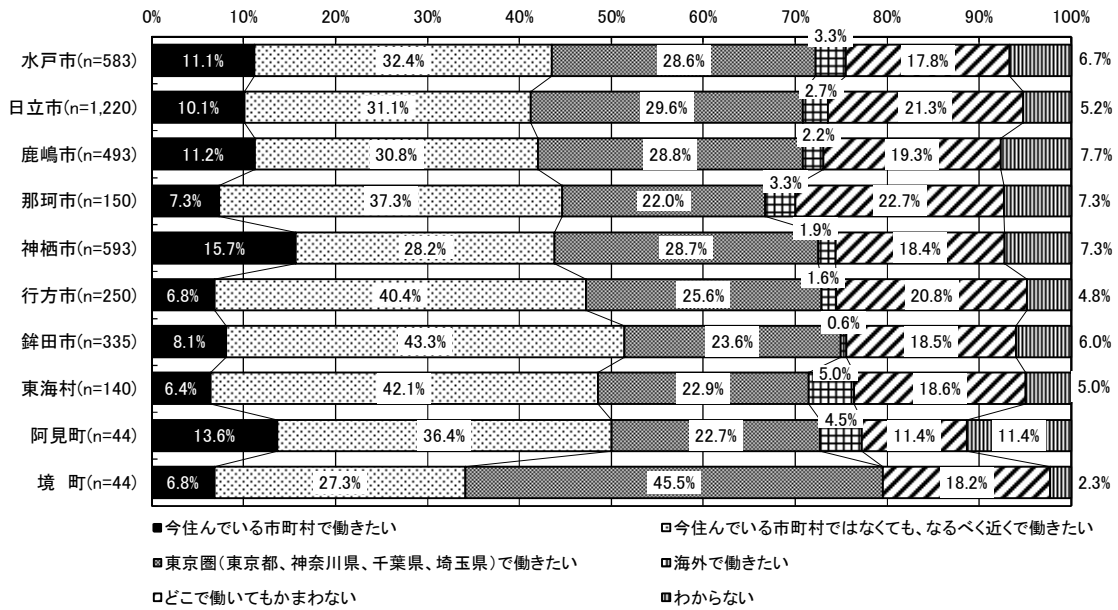


問 14. あなたは、将来働く際に、どこで働きたいと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。(SA)

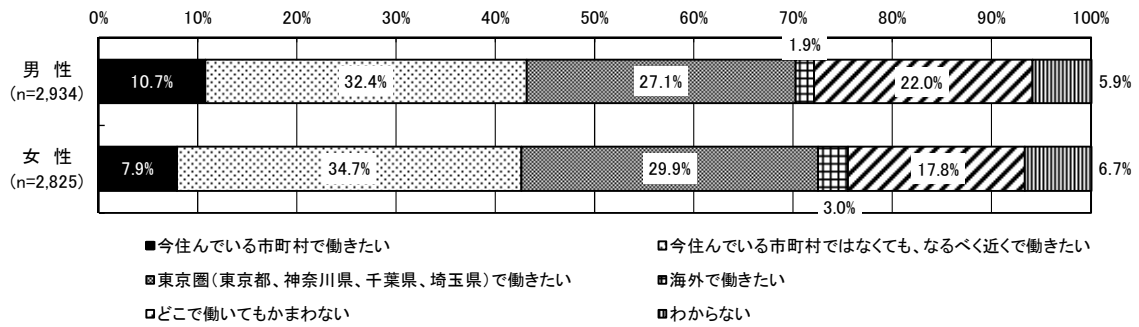


- ・将来の勤務地は、「今住んでいる市町村でもなくとも、なるべく近くで働きたい」が33.5%で最も多い。次いで、「東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）で働きたい」が28.5%、「どこで働いてもかまわない」が19.9%となっている。「今住んでいる市町村で働きたい」と「今住んでいる市町村でもなくとも、なるべく近くで働きたい」を合わせた“現在の居住地の近くで働きたい”割合は40%を超えている。
- ・居住市町村別では、銚田市で“現在の居住地の近くで働きたい”割合が51.4%と、調査対象市町村の中で最も高い。
一方、千葉県と埼玉県に隣接する境町では、「東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）で働きたい」が45.5%と、他市町村を大きく上回っている。
- ・男女別では、それほど大きな回答差は見られない。

● 居住市町村別

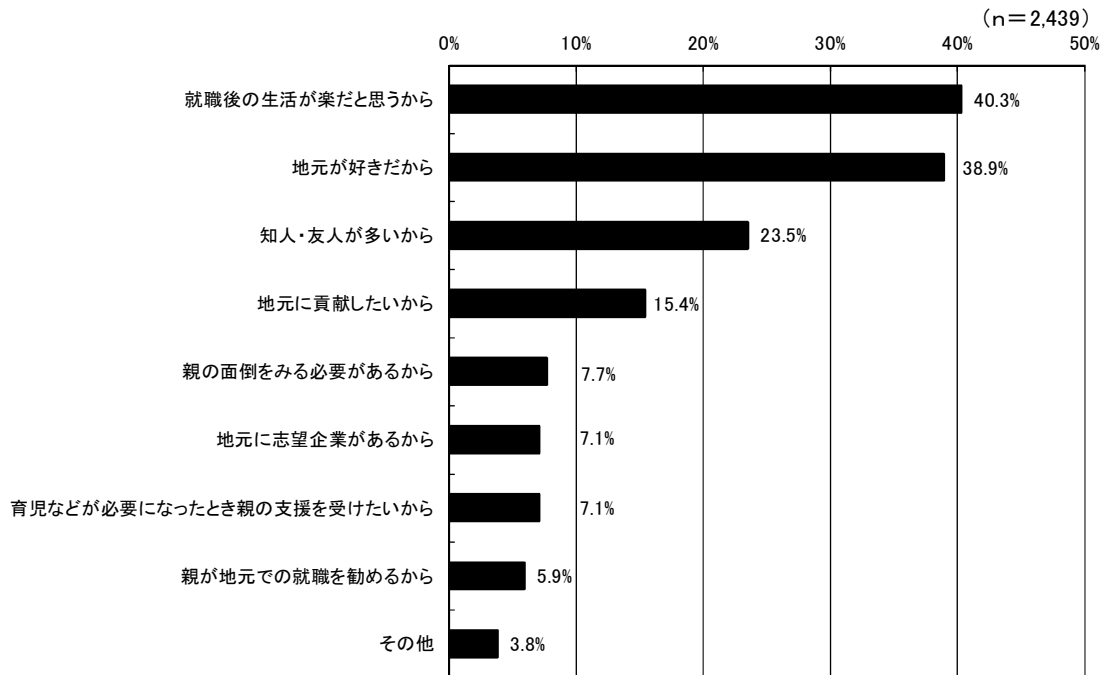


● 性別



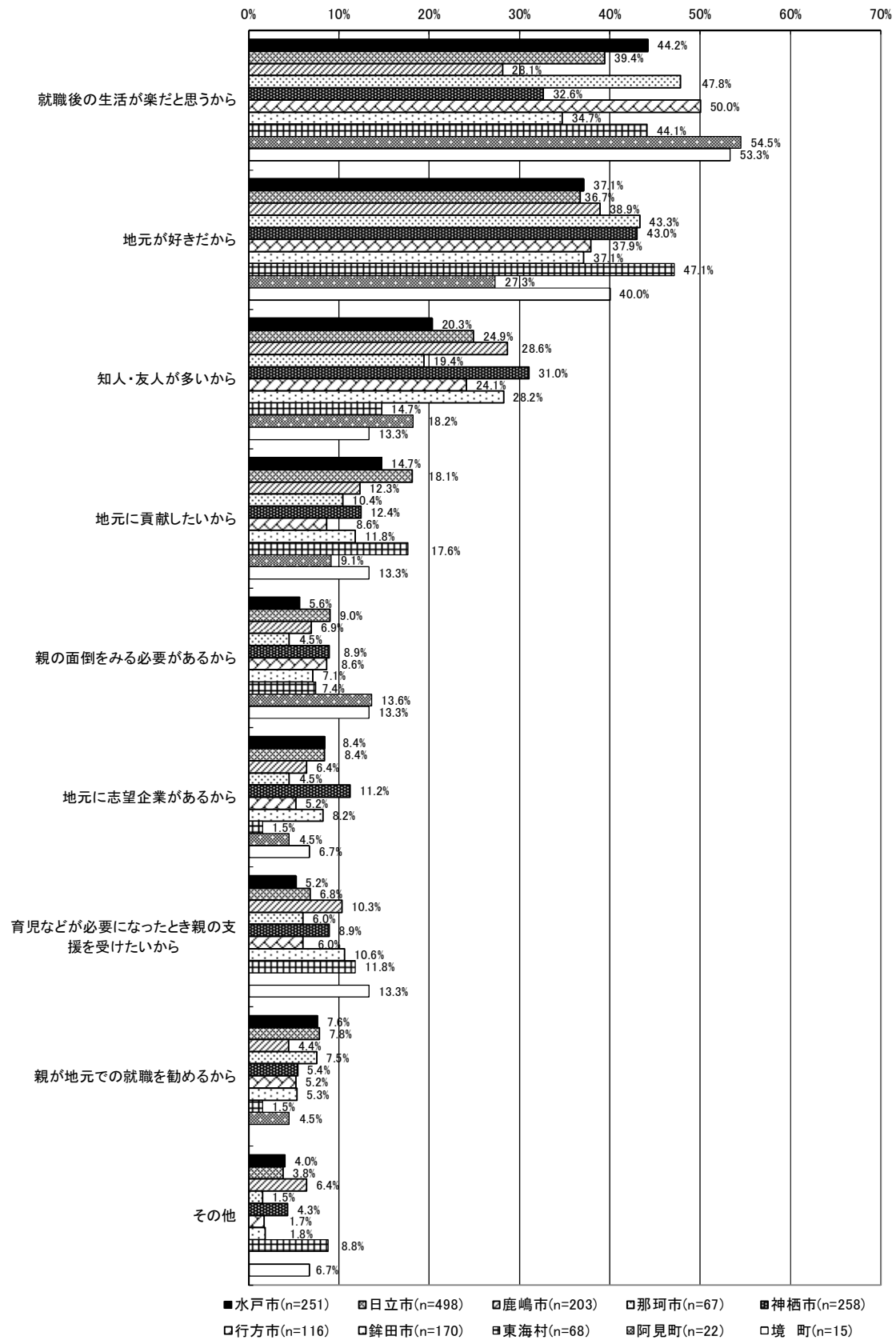
問 15. 【問 14 で「今住んでいる市町村で働きたい」、「今住んでいる市町村ではなくても、なるべく近くで働きたい」とお答えの方】

あなたが「今住んでいる市町村」、あるいは「今住んでいる市町村の近く」で働きたいと考える理由は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください。(MA:2)

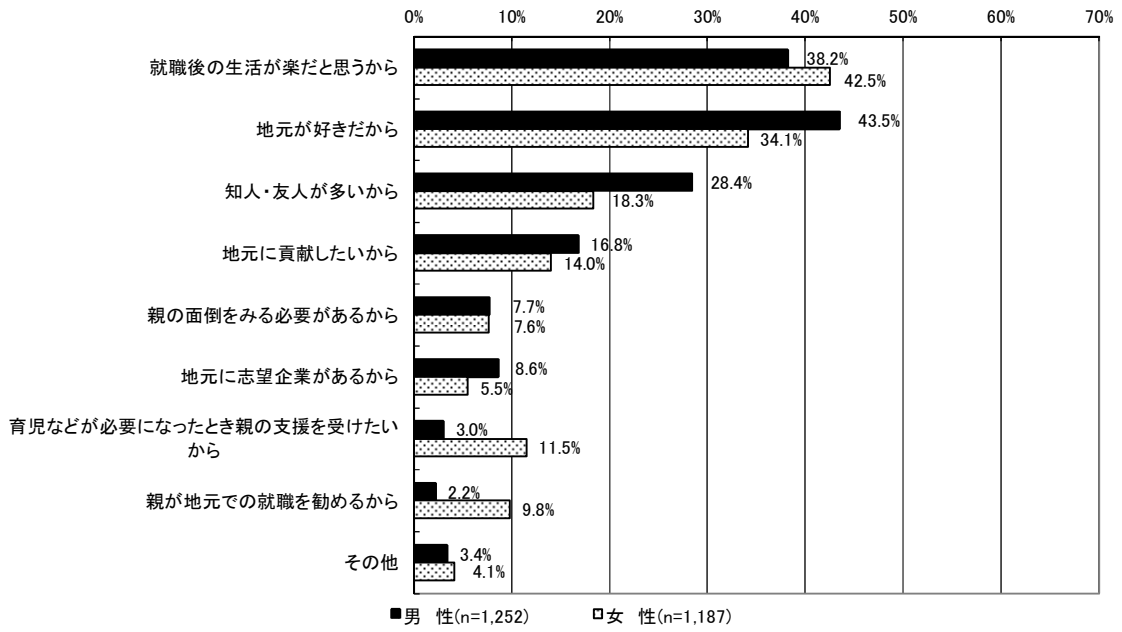


- ・“近くで働きたい”理由は、「就職後の生活が楽だと思ふから」が40.3%で最も高い。次いで、「地元が好きだから」が38.9%、「知人・友人が多いから」が23.5%、「地元へ貢献したいから」が15.4%となっている。
- ・居住市町村別では、行方市、阿見町、境町で「就職後の生活が楽だと思ふから」が50%を超えている。また、東海村では「地元が好きだから」の回答割合が、他市町村に比べてやや高くなっている。
- ・男女別では、男性で「地元が好きだから」、「知人・友人が多いから」、女性で「育児などが必要になったとき親の支援を受けたいから」、「親が地元での就職を勧めるから」がそれぞれ高い回答割合となっている。

● 居住市町村別

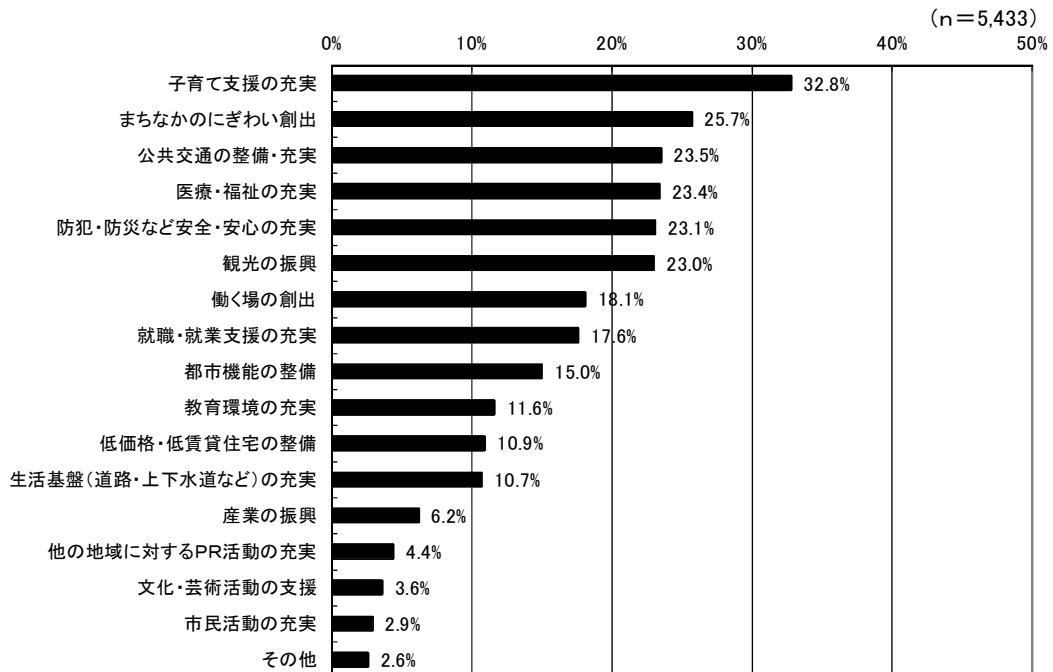


●性別



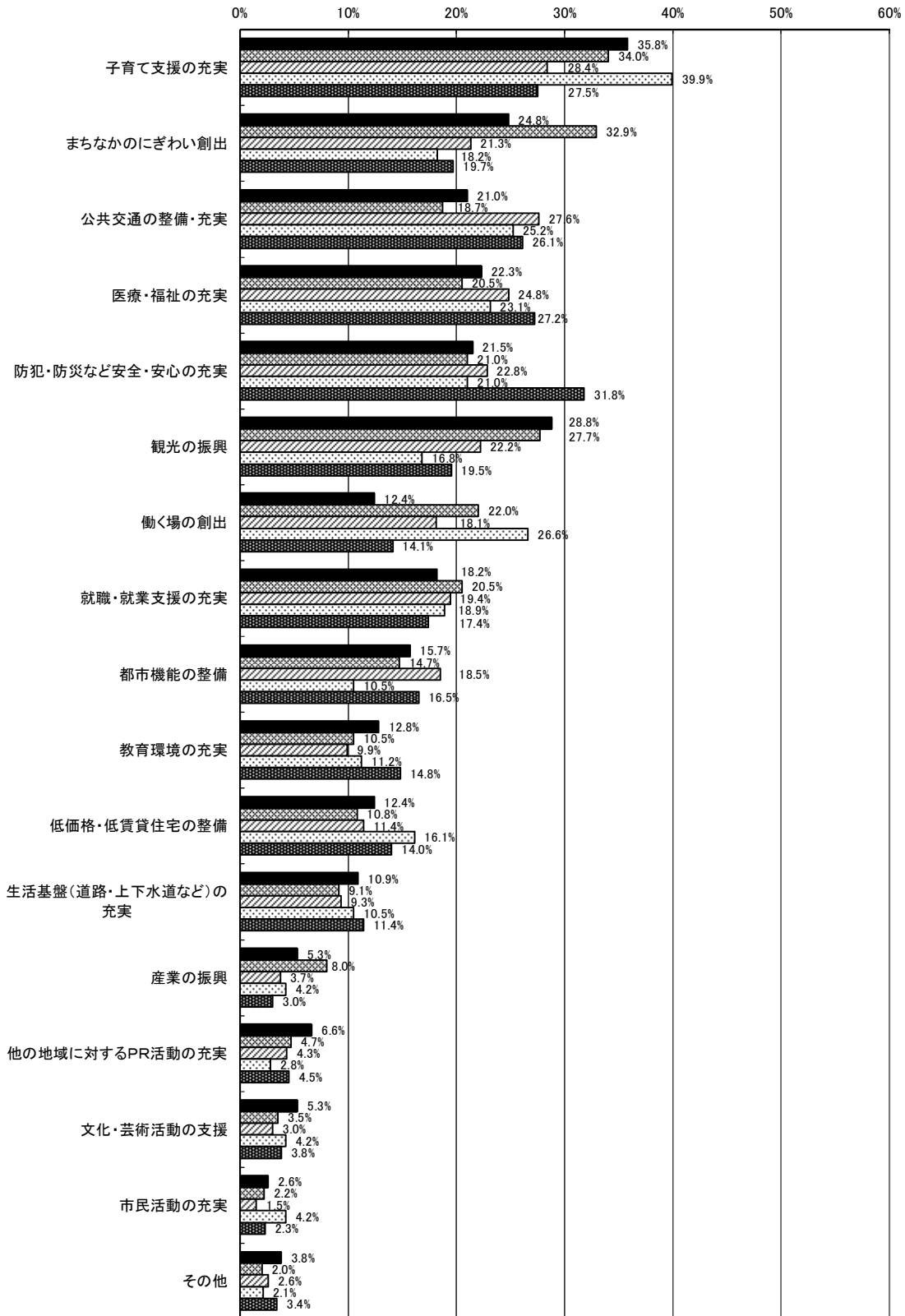
5. 市役所や役場が取り組むべきこと

問 16. 今住んでいる市町村の人口を増やす(定住化を促進する)ために、市役所や役場はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。
(MA:3)

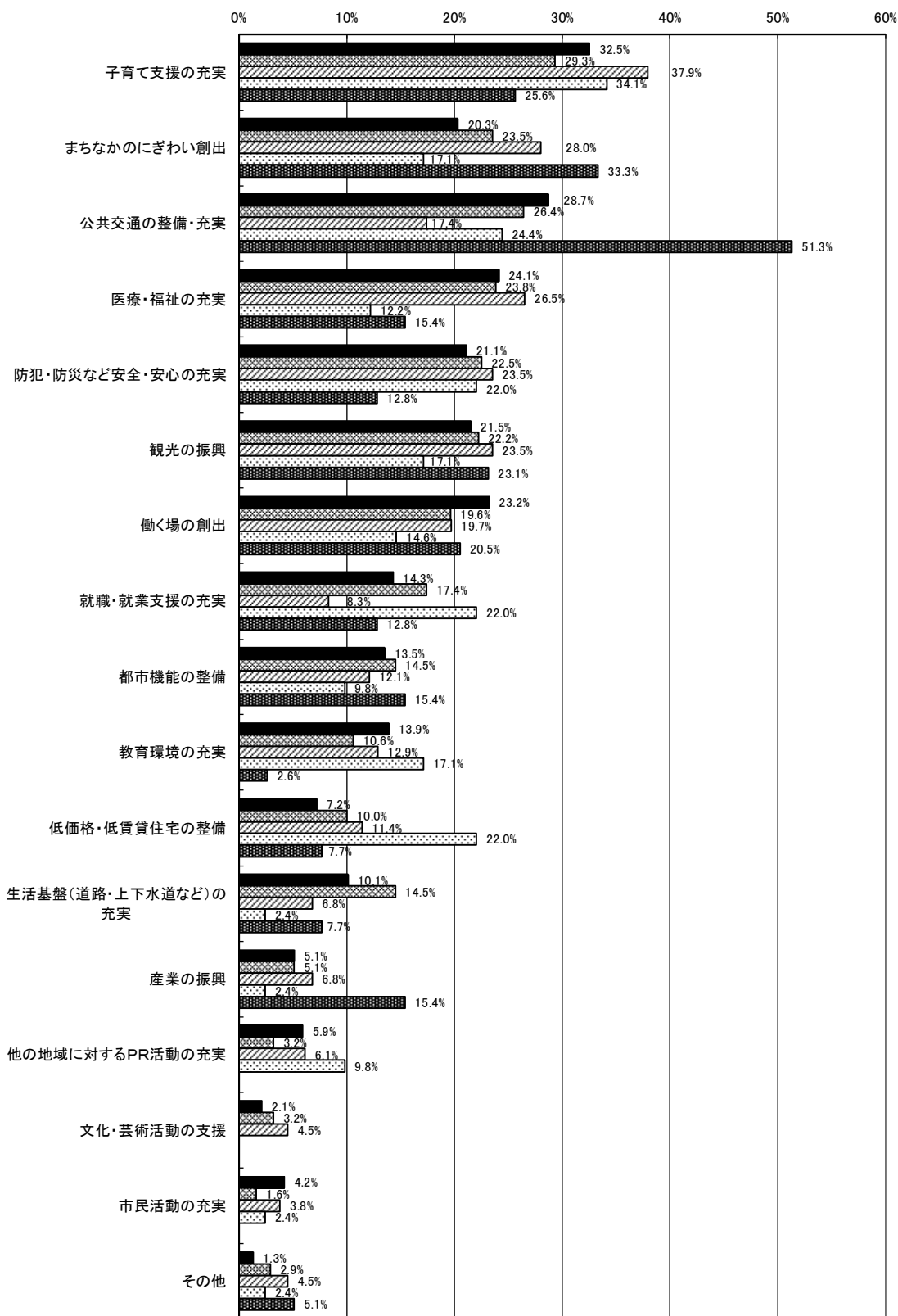


- ・ 定住促進のために必要な取り組みとしては、「子育て支援の充実」が 32.8%で最も多い。次いで、「まちなかのにぎわい創出」が 25.7%、「公共交通の整備・充実」が 23.5%、「医療・福祉の充実」が 23.4%となっている。上記を含め、8項目が 15%を超えており、定住促進のためには、暮らしやすい環境の整備を中心に幅広い取り組みが求められている。
- ・ 居住市町村別では、那珂市で「子育て支援の充実」が、日立市、境町で「まちなかのにぎわい創出」が、阿見町で「低価格・低賃貸住宅の整備」が、それぞれ他市町村と比べ高い回答割合となっている。
加えて、境町では「公共交通の整備・充実」が突出して高い回答割合となっている。
- ・ 男女別では、男性で「都市機能の整備」、女性で「子育て支援の充実」、「まちなかのにぎわい創出」がそれぞれ高い回答割合となっている。

●居住市町村別

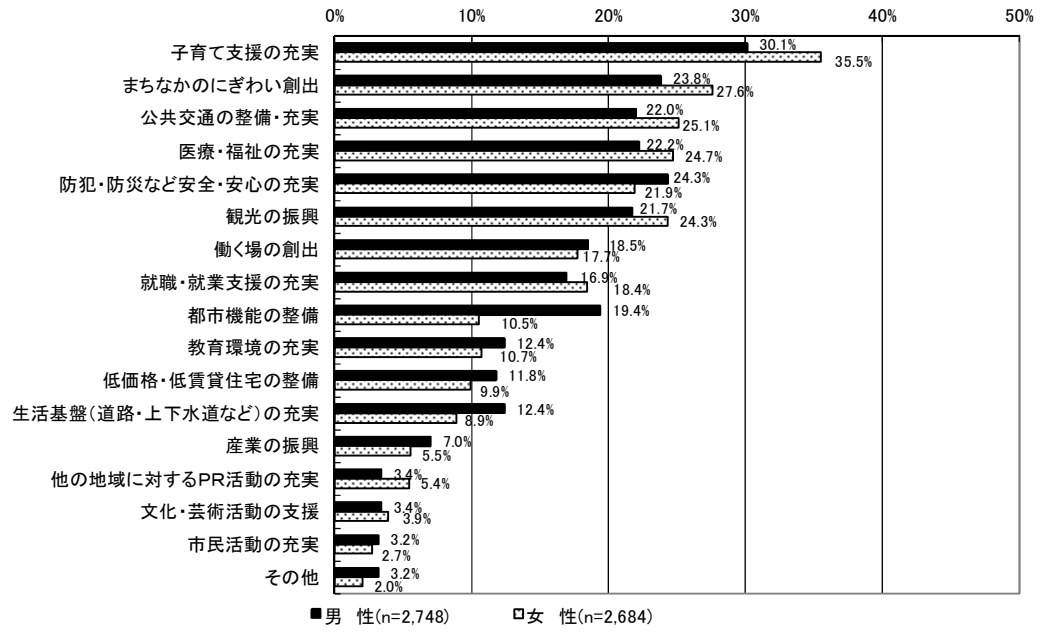


■水戸市(n=548) □日立市(n=1,156) ▨鹿嶋市(n=464) ▩那珂市(n=143) ■神栖市(n=559)



■行方市(n=237) □銚田市(n=311) ▨東海村(n=132) □阿見町(n=41) ■境町(n=39)

●性別



IV. 資料

1. アンケート票

高校生の将来に対する意識調査

現在、全国の市町村では、若者の地域定住、東京圏から地方への移住を促進し、人口減少の抑制や地域活性化を図ることを目的に、計画づくりを行っています。

この調査は、高校生の皆様の将来に対する考えを確認し、地域の将来をより良くしていく計画づくりの基礎資料として利用するため行うものです。ご協力をお願いします。

問1. あなたご自身についてお聞きします。

(1) あなたが通学する高校をご記入ください。

(2) 現在、あなたがお住まいの市町村をご記入ください。

(3) あなたの性別について、当てはまる番号に○をつけてください(1つ)。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(4) あなたが卒業後に希望する進路について、最も近い番号に○をつけてください(1つ)。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 大学・短大等への進学(茨城県内) | 2. 大学・短大等への進学(茨城県外) |
| 3. 専門学校・専修学校等への進学(茨城県内) | 4. 専門学校・専修学校等への進学(茨城県外) |
| 5. 就職 | 6. 自営または家業を継ぐ |
| 7. わからない | 8. その他() |

次に、今のお住まいと将来住みたいまちについてお伺いします

問2. あなたは今お住まいの市町村に愛着がありますか。当てはまる番号に○をつけてください(1つ)。

- | | | |
|------------------|------------------|--------------|
| 1. 愛着がある | 2. どちらかといえば愛着がある | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば愛着はない | 5. 愛着はない | |

問3. あなたが問2だと感じる理由は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください(2つまで)。

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1. 生活環境が良い(悪い) | 2. 地域のお祭り・イベント・歴史等に誇りがある(ない) |
| 3. 交通の利便性が良い(悪い) | 4. スポーツ、レジャー環境が充実している(不十分である) |
| 5. 友人が多い(少ない) | 6. 昔から住んでいるから(住んでいないから) |
| 7. 自然がある(ない) | 8. その他() |

問4. あなたは学校のある市町村に愛着がありますか。当てはまる番号に○をつけてください（1つ）。
お住まいの市町村と学校のある市町村が同じ場合でも回答してください。

- | | | |
|------------------|------------------|--------------|
| 1. 愛着がある | 2. どちらかといえば愛着がある | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば愛着はない | 5. 愛着はない | |

問5. あなたが問4だと感じる理由は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください（2つまで）。

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1. 生活環境が良い（悪い） | 2. 地域のお祭り・イベント・歴史等に誇りがある（ない） |
| 3. 交通の利便性が良い（悪い） | 4. スポーツ、レジャー環境が充実している（不十分である） |
| 5. 友人が多い（少ない） | 6. 昔から住んでいるから（住んでいないから） |
| 7. 自然がある（ない） | 8. その他（ ） |

問6. あなたは、将来、今お住まいの市町村に住み続けたいと思いますか（または、進学、就職等で今のお住まいを一度出られた場合も、同じ市町村または周辺地域に戻ってきたいと思いませんか）。当てはまる番号に○をつけてください（1つ）。

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| 1. ぜひ住み続けたい（ぜひ戻ってきたい） | } →問7へお進みください |
| 2. 可能であれば住み続けたい（可能であれば戻ってきたい） | |
| 3. どちらともいえない・こだわりはない | →問9へお進みください |
| 4. どちらかといえば住みたくない（できれば戻ってきたくない） | } →問8へお進みください |
| 5. 住みたくない（戻りたくない） | |

問7. 【問6で「1」、「2」とお答えの方にお伺いします】あなたが今お住まいの市町村に「住み続けたい（戻りたい）」とお考えの理由は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください（2つまで）。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 通勤や通学に便利だから | 2. 日常の買い物などが便利だから |
| 3. 病院などが近くにあるから | 4. 進みたい学校・就職先があるから |
| 5. 治安が良いから | 6. 遊ぶ場所があるから |
| 7. 親の近くに住みたいから | 8. 友人がいるから |
| 9. その他（具体的に： ） | |

問8. 【問6で「4」、「5」とお答えの方にお伺いします】あなたが今お住まいの市町村に「住み続けたくない（戻りたくない）」とお考えの理由は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください（2つまで）。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 通勤や通学に不便だから | 2. 日常の買い物などが不便だから |
| 3. 病院などが近くにないから | 4. 進みたい学校・就職先がないから |
| 5. 治安が悪いから | 6. 遊ぶ場所が少ないから |
| 7. 親から独立したいから | 8. 友人が少ないから |
| 9. その他（具体的に： ） | |

問14. あなたは、将来働く際に、どこで働きたいと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください（1つ）。

1. 今住んでいる市町村で働きたい	} →問15へお進みください
2. 今住んでいる市町村ではなくても、なるべく近くで働きたい	
3. 東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）で働きたい	} →問16へお進みください
4. 海外で働きたい	
5. どこで働いてもかまわない	
6. わからない	

問15. 【問14で「1」、「2」とお答えの方にお伺いします】あなたが「今住んでいる市町村」、あるいは「今住んでいる市町村の近く」で働きたいと考える理由は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください（2つまで）。

1. 地元が好きだから	2. 就職後の生活が楽だと思うから
3. 地元貢献したいから	4. 地元志望企業があるから
5. 親の面倒をみる必要があるから	6. 知人・友人が多いから
7. 親が地元での就職を勧めるから	8. 育児などが必要になったとき親の支援を受けたいから
9. その他（具体的に： _____）	

最後に、人口減少社会において、市役所や役場の取り組むべきことについてお伺いします

問16. 今住んでいる市町村の人口を増やす（定住化を促進する）ために、市役所や役場はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください（3つまで）。

1. 防犯・防災など安全・安心の充実	2. 医療・福祉の充実
3. 生活基盤（道路・上下水道など）の充実	4. 就職・就業支援の充実
5. 子育て支援の充実	6. まちなかのにぎわい創出
7. 低価格・低賃貸住宅の整備	8. 公共交通の整備・充実
9. 教育環境の充実	10. 産業の振興
11. 働く場の創出	12. 都市機能の整備
13. 観光の振興	14. 文化・芸術活動の支援
15. 市民活動の充実	16. 他の地域に対するPR活動の充実
17. その他（具体的に： _____）	

アンケートは以上です。ご協力、誠にありがとうございました。

県内在学の高校生の就職・居住に

関する意識調査報告書

平成 27 年 7 月

水戸市